

ANTENNA

2026年入試への万全の対策

第3回全統記述模試

入試本番まで残すところわずか2、3ヶ月となりました。大学入学共通テストの出願も終わり、受験勉強もいよいよラストスパートの時期です。

さて、全国で263,640名が参加した第3回全統記述模試の成績集計結果をここに掲載します。

本番へ向けた冬休みの学習指針として、本冊子をじっくり読んで十分に活用してください。

皆さんに残された時間は残りわずかです。悔いのないよう来春のゴール目指して頑張ってください。

もくじ

見直しシート	2
個人成績表の見方	3
成績統計資料	5
総合成績表	5
科目別成績表	6
教科科目別設問別成績表	7
小問（単位問）別平均点	9
学習対策	22
英語	22
数学	22
国語	23
理科	24
地理歴史	27
公民	28
採点に関する問い合わせについて	29
お問い合わせ先一覧	31

※本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

全統模試 見直しシート

STEP 1

個人成績表「1.成績概況」を確認し、受験した教科・科目と偏差値を書き込みましょう。

STEP 2

個人成績表「5.設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差がついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

STEP 4

個人成績表「3.志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標偏差値を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	偏差値	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標偏差値
(例) 英語	52.1	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	55.0



河合塾 全統模試学習ナビゲーター



模試ナビは、Web上で全統模試の復習や成績確認などができるサービスです

利用料無料



河合塾講師によるわかりやすい解説講義動画が視聴可能！
間違えた問題は必ずチェックして理解を深めよう。



詳しい学習アドバイスやライバルとの差をつける追加問題
など、模試ナビだけのコンテンツも多数閲覧できます。

詳しくはこちらから

www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/

個人成績表の見方

各項目について、詳しくはP.4をご確認ください。

1. 成績概況

自分の学力状況や全国での位置づけを確認しましょう

- 各科目の得点や偏差値、順位、平均点などを表示しています。

教科	科目	あなたの得点	偏差値	学力平均点	全国順位(位)	順位(人中)	偏差値	平均点	校内順位(空席率による)	校内平均点	校内順位(位)	順位(人中)
英語	英語	112 / 200	59.6	76.6	28018	155812	74.0	96.0	21530	137741	63.8	76.3
数学	数学	149 / 200	67.1	77.9	3269	64019	73.1	101.7	1945	52282	70.2	71.9

2. 全統共通テスト模試成績

今年度の同一回の全統共通テスト模試を受験している場合、その成績が表示されます。

教科	科目	あなたの得点	偏差値	学力平均点	全国順位(位)	順位(人中)	偏差値	平均点	校内順位(空席率による)	校内平均点	校内順位(位)	順位(人中)
英語	英語	112 / 200	59.6	76.6	28018	155812	74.0	96.0	21530	137741	63.8	76.3
数学	数学	149 / 200	67.1	77.9	3269	64019	73.1	101.7	1945	52282	70.2	71.9

5. 設問別成績

分野ごとの成績や、どの分野でライバルと差がついたのかを確認しましょう

- 各科目の設問別の成績や、成績を基にした学習アドバイスを表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均点とあなたの得点を比較して、最も良かった設問に○、悪かった設問に▲を表示しています。
- 第1志望について、あなたの評価より一段階上の判定者との成績比較を表示しています。

5 設問別成績

あなたと同じ学力レベル層との成績比較

設問	内容	あなたの得点	全国平均点	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較
2	中文空所	6 / 15	8.8	8.4	2 / 10.6 -4.6 ▲ -30.7%
3	文法・語法	8 / 20	7.9	8.2	3 / 10.1 -2.1 -10.5%
4	総合問題	31 / 60	17.9	14.8	4 / 24.9 6.1 10.2%
5	総合問題	44 / 60	23.6	23.6	5 / 32.7 11.3 ○ 18.8%
6	英作文	23 / 45	18.3	21.1	6 / 24.8 -1.8 -4.0%

空所補充問題を解くときには、基本的な語い・語法・文法の知識は不可欠です。選択の根拠をはっきり踏まえ解きましょう。

あなたと同じ学力レベル層との比較

第1志望校との成績比較

設問	内容	あなたの得点	全国平均点	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較	第1志望校との成績比較
2	中文空所	6 / 15	8.8	8.4	2 / 10.6 -4.6 ▲ -30.7%	2 / 12.0 -6.0
3	文法・語法	8 / 20	7.9	8.2	3 / 10.1 -2.1 -10.5%	3 / 12.0 -4.0
4	総合問題	31 / 60	17.9	14.8	4 / 24.9 6.1 10.2%	4 / 42.2 -11.2
5	総合問題	44 / 60	23.6	23.6	5 / 32.7 11.3 ○ 18.8%	5 / 44.4 -0.4
6	英作文	23 / 45	18.3	21.1	6 / 24.8 -1.8 -4.0%	6 / 34.2 -11.2

第1志望校との成績比較

設問	内容	あなたの得点	全国平均点	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較	第1志望校との成績比較
1	総合と総合	15 / 30	15.8	14.9	1 / 21.2 -6.2 -20.7%	1 / 22.8 -7.8
2	総合と総合	17 / 25	11.5	10.6	2 / 17.1 -0.1 -0.4%	2 / 15.6 1.4
3	総合と総合	19 / 20	11.0	10.3	3 / 15.5 1.5 7.5%	3 / 14.6 1.4
4	総合と総合	22 / 25	9.3	8.2	4 / 15.9 3.1 ○ 12.4%	4 / 14.4 4.6

4. 成績推移

学習成果の長期的な推移を確認しましょう

- 昨年度の全統記述高2模試、今年度の第1~3回全統記述模試の成績推移を表示しています。

3. 志望校別成績・評価

志望校までの距離やライバルの中での位置づけを確認しましょう

- 大学・学部ごとの合格可能性評価、志望者内の順位、教科別成績などを表示しています。
- 合格可能性評価の記号の意味は右表のとおりです。受験教科・科目に不足がある場合などには、注意表示がされます。

- A : 合格可能性評価80%以上
- B : 合格可能性評価65%
- C : 合格可能性評価50%
- D : 合格可能性評価35%
- E : 合格可能性評価20%以下
- G : 教科・科目数の不足
- H : 範囲不足

6. 学力要素別成績

どの学力要素でライバルとの差がついたのか、自身の弱点を確認しましょう

- 教科別・学力要素別の得点率と、全国や校内の平均得点率を表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均得点率と、あなたの得点率を比較できるように表示しています。

個人成績表の見方<注釈>

1. 成績概況

■**学力レベル**の定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

- 総合1**は、国理、国文、私理、私文の各型の母集団内での位置づけを示します。偏差値は全受験科目の偏差値の平均値です。上記の区別は、受験届の志望別欄のマークによります。未マークの場合は、最も高い志望順位にマークした国公立大学（マークしていない場合は私立大学）の文理区分によります。
 - 総合2**は、文系または理系別の位置づけを示します。偏差値は、文系は英・国・<数or地or公>から2～3教科、理系は英・数・理から2～3教科の偏差値の平均値です。理科、地歴、公民を複数科目受験している場合は、偏差値の高い科目を採用します。
 - 校内成績欄**の母集団は、現役生は在籍高校、高卒生のうち予備校生はその予備校（一括申込の場合）です。また、偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示しています。
- ※校内順位は全国偏差値をもとに順位づけしています。

2. 全統共通テスト模試成績

- 共通テスト換算得点**は、今年度の全統共通テスト模試の科目の得点を、直近の大学入学共通テストの得点に換算したものです。今年度の全統共通テスト模試の中での位置づけが、直近の大学入学共通テストの得点分布ではどのような位置に相当するかを示すもので、来年度の大学入学共通テストの得点を予想するものではありません。
- 理科、地歴、公民**において第2解答科目の共通テスト換算得点が第1解答科目より高い場合は“*”を表示しています。

3. 志望校別成績・評価

■河合塾の合格可能性評価は、模試ごとの志望者分布だけでなく、今年度の全体志望動向等を含めて予想しています。

詳しくはこちらからご確認ください。

www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/



・合格可能性評価は、それぞれ次の意味を表します。

- A : 合格可能性評価80%以上…今のところ合格圏にあります。このペースで頑張りましょう。
 - B : 合格可能性評価65%…油断大敵。合格圏へもうひとふんばりです。
 - C : 合格可能性評価50%…ボーダーライン。合格圏めざして頑張りましょう。
 - D : 合格可能性評価35%…これからの努力で、まだまだ伸びます。大いに頑張りましょう。
 - E : 合格可能性評価20%以下……再検討を要します。学習法を一考しましょう。
 - G : 教科・科目数の不足…志望大学入試に必要な教科・科目のなかに未受験のものがあります。
 - H : 範囲不足…英語（リスニング）、数学（Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型）、国語（現・古・漢）のいずれかの範囲が不足しています。理科（全範囲）を課す大学を志望していますが、理科基礎を受験しています。なお、選択科目がある場合、通常は偏差値が高い方の科目を用いますが、一方の科目が範囲不足となっている場合は、成績に関わりなく範囲不足になっていないもう一方の科目を用いて合格可能性評価を行います。
- #** : 大学入学共通テストと二次試験で同一科目受験が制限されている大学の志望者が、共通テスト模試と記述模試でその同一科目を受験した場合は合格可能性評価に「#」を付し、注意を促しています。
- * : 英・数・国・理・地公の教科試験が課されない等の理由により、合格可能性評価を行いません。

- ・志望大学に必要な教科・科目を一部受験していない場合は、受験している科目で評価偏差値を計算して評価を行い、評価欄にG付評価（例：BG、CGなど）を表示します。1科目も受験していない場合は、評価欄に「G」を付し、A～Eの評価は表示されません。
- ・ボーダーランク欄の「BF（ボーダーフリー）」という表示は、ボーダーラインが設定できなかった大学の募集区分（不合格者が少ないため、合格率50%となるボーダーラインがどの偏差値帯においても存在しないもの）を表しています。
- 定員**は、4年制大学および短期大学は募集人員、専門学校などは入学定員を表示しています。非公表の場合は河合塾推定で“*”を付しています。大学が若干名と公表している場合、もしくは、設定できない場合、募集人数を“0”と表示しています。
- 志望大学**の中で、第1志望者内での集計と、総志望者での集計を行い、**順位と平均偏差値**を表示します。
 - ・「第1志望者」は、国公立大については当該大学を前期、中期、後期の各日程内で最も高い志望順位に記入した方、私立大その他についてはその中で当該大学を最も高い志望順位に記入した方、をそれぞれ集計対象としています。
 - ・第2志望以下の大学における第1志望者欄の順位は、第1志望者の母集団に当てはめた場合の順位です。

- ・平均偏差値は二次・一般の評価偏差値の平均です。二次試験で学科試験を課さない国公立大、大学独自の個別学科試験を課さない共通テスト利用私大・短大は、偏差値表示はされません。
- 教科別成績**には、各志望校の教科別の平均偏差値、本人成績、大学配点（各志望校の教科別配点）が表示されます。
- ・**平均偏差値**は、国公立大については第1志望者を、私立大その他については総志望者を集計対象としています。入試に課されない教科についても参考として表示しています。二次試験で学科試験を課さない国公立大は第1志望者、大学独自試験を課さない共通テスト利用私大・短大は総志望者の平均偏差値が参考として表示されます。第1志望者が0人の場合は表示されません。
- ・**本人成績**は、<1. 成績概況>の科目の偏差値の中で合格可能性評価に使用した科目の偏差値を表示しています（母集団はその科目を受験した方です）。理科、地歴、公民で2科目以上受験している場合は、入試で課される科目が1科目であれば使用した科目、2科目であれば科目の配点比率に応じて計算された偏差値が表示されます。

【例】E大学を志望したF君の場合

E大学の理科の配点 化学 80点 生物 40点
F君の記述模試の偏差値 化学 52.0 生物 59.8
とすると、F君のE大学の教科別成績の理科の欄は、

$$\frac{\{(52.0 \times 80) + (59.8 \times 40)\}}{80 + 40} = 54.6$$

下記の記号は、それぞれ次の意味を表します。

G : 必須教科・科目数の不足、H : 範囲不足

- ・**大学配点**は、入試に課される教科の教科別の配点のうち、あなたの合格可能性評価に採用された教科について表示されています。ただし、あなたが受験していない教科については表示されません。

4. 成績推移

- 昨年度の全統記述高2模試、今年度の第1～3回全統記述模試の成績推移を表示します。学力伸長度・学習成果の長期的な変化を確認できます。

5. 設問別成績

- 第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

6. 学力要素別成績

- 今回の模試で出題された各問題が主にどんな学力を問うているのかを、学力を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」の3要素に分類し、学力要素ごとの成績（得点率）を表示しています。選択問題が出題されている場合は、選択パターンごとに集計しています。

◆ 総合成績表

受験者総数 **263,640** 名

(現役：239,903名/高卒：23,737名)

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	72.5	70.5	92.8	37.4	50.0	49.5	55.4	196	0	260630	237090	23540
I型	100	30.9	30.8	37.5	21.0	50.0	49.9	53.1	100	0	9389	9248	141
II型	200	64.1	62.3	91.9	36.3	50.0	49.5	57.7	200	0	82414	77311	5103
III型	200	63.8	60.2	87.1	40.8	50.0	49.1	55.7	200	0	100471	86780	13691
現代文	150	60.1	59.6	70.2	17.9	50.0	49.7	55.7	148	0	13875	13274	601
現・古	200	84.4	84.1	88.3	22.3	50.0	49.9	51.8	169	0	31920	29683	2237
現古漢	200	79.7	78.7	95.5	27.1	50.0	49.6	55.8	191	0	130400	122481	7919
物理基礎	50	19.0	19.0	18.9	8.7	50.0	50.0	49.9	49	0	1478	1455	23
物理	100	37.1	35.2	51.0	19.7	50.0	49.0	57.0	100	0	87082	76742	10340
化学基礎	50	18.1	18.1	20.7	9.0	50.0	50.0	52.8	49	0	5693	5618	75
化学	100	34.6	32.7	48.5	18.3	50.0	49.0	57.6	100	0	107441	94104	13337
生物基礎	50	22.6	22.6	24.3	7.5	50.1	50.0	52.3	45	0	7818	7725	93
生物	100	43.6	41.9	56.0	16.3	50.0	48.9	57.6	98	0	30641	26913	3728
地学基礎	50	18.7	18.7	13.7	8.6	49.9	50.0	44.2	48	0	737	731	6
地学	100	40.2	38.8	45.1	20.0	50.0	49.3	52.5	91	0	275	214	61
世界史	100	40.5	39.6	54.5	19.8	50.0	49.5	57.1	100	0	37723	35232	2491
日本史	100	32.2	31.3	47.2	17.7	50.0	49.5	58.5	100	0	57799	54479	3320
地理	100	33.8	32.8	50.3	17.1	50.0	49.4	59.6	95	0	11240	10578	662
倫理	100	33.0	32.9	51.6	15.9	50.0	49.9	61.7	96	0	4692	4645	47
政治経済	100	33.9	33.7	44.6	13.0	50.0	49.8	58.2	99	0	30269	29481	788

全国の受験者の中での位置を教科・科目別/志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「志望別順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の二次試験・一般試験の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を、河合塾ホームページに掲載しています。

スマートフォンの方は
こちら



www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/

◆科目別成績表

受験者が1名の場合は成績は表示しておりません。

国公立大理系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	80.9	78.5	99.4	-----	52.2	51.6	57.2	194	0	99879	88408	11471
I型	100	41.4	41.4	36.5	-----	55.0	55.0	52.7	100	0	1188	1170	18
II型	200	59.9	59.3	74.6	-----	48.8	48.7	52.9	188	0	16000	15380	620
III型	200	67.3	63.8	90.7	-----	50.9	50.0	56.6	200	0	83114	72234	10880
現代文	150	69.7	68.7	79.8	-----	55.3	54.8	61.0	143	0	2961	2717	244
現・古	200	96.5	95.2	105.7	-----	55.4	54.9	59.6	165	2	1370	1202	168
現古漢	200	80.4	79.5	100.1	-----	50.3	49.9	57.5	183	0	34016	32489	1527
物理基礎	50	20.5	20.5	20.2	-----	51.7	51.7	51.4	42	0	681	676	5
物理	100	39.1	37.3	52.4	-----	51.0	50.1	57.8	100	0	72466	63770	8696
化学基礎	50	21.2	21.2	20.3	-----	53.5	53.5	52.4	48	1	1868	1842	26
化学	100	36.2	34.3	49.8	-----	50.9	49.9	58.3	100	0	90016	79156	10860
生物基礎	50	23.9	23.9	25.4	-----	51.7	51.7	53.7	43	5	1888	1861	27
生物	100	46.3	44.8	58.1	-----	51.6	50.7	58.9	98	0	22632	20055	2577
地学基礎	50	16.8	16.8	17.0	-----	47.7	47.7	48.1	31	6	51	49	2
地学	100	42.8	41.9	45.8	-----	51.3	50.8	52.8	91	4	247	188	59
世界史	100	25.3	24.8	36.5	-----	42.3	42.1	48.0	57	4	85	81	4
日本史	100	20.8	20.5	50.0	-----	43.5	43.4	60.1	75	3	205	203	2
地理	100	28.9	28.9	37.1	-----	47.2	47.1	51.9	79	0	1900	1893	7
倫理	100	30.0	30.3		-----	48.1	48.3		72	6	61	60	1
政治経済	100	31.4	31.2	39.2	-----	48.1	48.0	54.1	90	0	624	608	16

国公立大文系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	78.4	76.9	100.1	-----	51.6	51.2	57.4	196	0	67205	62904	4301
I型	100	34.6	34.5	42.2	-----	51.8	51.7	55.4	100	0	2434	2405	29
II型	200	71.5	69.3	99.4	-----	52.0	51.4	59.7	200	0	47044	43582	3462
III型	200	45.5	43.9	67.7	-----	45.5	45.1	51.0	164	0	329	308	21
現代文	150	66.3	66.2	68.6	-----	53.5	53.4	54.8	141	2	1647	1565	82
現・古	200	95.4	95.1	99.0	-----	54.9	54.8	56.6	169	14	4349	3968	381
現古漢	200	84.9	83.9	100.1	-----	51.9	51.6	57.5	191	0	60241	56494	3747
物理基礎	50	20.5	20.3	27.1	-----	51.8	51.6	59.3	45	2	273	266	7
物理	100	24.3	23.9	35.0	-----	43.5	43.3	48.9	90	0	593	574	19
化学基礎	50	20.4	20.4	25.7	-----	52.6	52.5	58.4	49	0	1391	1376	15
化学	100	23.2	22.8	42.8	-----	43.8	43.5	54.5	93	0	859	841	18
生物基礎	50	24.6	24.6	25.0	-----	52.7	52.7	53.3	45	0	2586	2564	22
生物	100	33.0	32.9	43.5	-----	43.5	43.4	49.9	88	0	428	424	4
地学基礎	50	21.2	21.2	16.0	-----	52.9	52.9	46.9	48	4	471	468	3
地学	100	24.8	24.8		-----	42.3	42.3		49	0	4	4	
世界史	100	43.1	42.0	60.8	-----	51.3	50.8	60.2	100	0	19615	18422	1193
日本史	100	32.9	32.1	49.7	-----	50.4	50.0	59.9	98	0	27610	26366	1244
地理	100	38.4	37.2	52.6	-----	52.7	52.0	61.0	95	0	6683	6142	541
倫理	100	35.6	35.4	54.9	-----	51.7	51.5	63.7	96	0	3702	3659	43
政治経済	100	35.7	35.5	43.2	-----	51.4	51.2	57.2	92	0	17874	17564	310

私立大理系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	55.2	52.1	79.7	-----	45.4	44.6	51.9	190	0	28207	25034	3173
I型	100	31.2	31.1	32.4	-----	50.1	50.1	50.7	97	0	2434	2397	37
II型	200	47.8	46.9	68.3	-----	45.5	45.3	51.2	178	0	8587	8232	355
III型	200	47.8	42.6	73.6	-----	46.1	44.8	52.4	200	0	16537	13789	2748
現代文	150	58.6	58.4	67.7	-----	49.2	49.1	54.3	148	0	3024	2947	77
現・古	200	72.1	72.1	73.6	-----	44.5	44.5	45.2	139	0	708	686	22
現古漢	200	51.5	51.5	57.4	-----	39.6	39.6	41.8	148	0	3431	3405	26
物理基礎	50	16.8	16.9	13.7	-----	47.5	47.6	43.9	49	0	403	394	9
物理	100	27.6	25.4	43.7	-----	45.2	44.1	53.4	100	0	13461	11859	1602
化学基礎	50	15.3	15.2	22.8	-----	46.9	46.8	55.2	47	0	1417	1397	20
化学	100	27.2	24.4	42.9	-----	46.0	44.4	54.5	98	0	15699	13266	2433
生物基礎	50	21.0	21.0	24.6	-----	47.9	47.8	52.7	45	4	1783	1754	29
生物	100	36.7	34.0	51.4	-----	45.8	44.1	54.8	98	0	7031	5907	1124
地学基礎	50	11.0	11.4		-----	41.1	41.5		27	0	30	29	1
地学	100	16.6	14.7	27.0	-----	38.2	37.3	43.4	42	3	13	11	2
世界史	100	17.1	17.1		-----	38.2	38.2		41	0	59	59	
日本史	100	15.0	15.1	13.3	-----	40.3	40.3	39.3	66	2	195	192	3
地理	100	19.0	19.0		-----	41.3	41.3		60	3	329	329	
倫理	100	20.2	20.2		-----	41.9	41.9		48	7	22	22	
政治経済	100	24.7	24.6	31.0	-----	42.9	42.8	47.8	57	0	202	200	2

私立大文系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	61.2	59.9	78.8	-----	47.0	46.6	51.7	192	0	64589	60063	4526
I型	100	24.2	23.9	39.3	-----	46.8	46.7	54.0	99	0	3269	3216	53
II型	200	51.5	49.5	81.8	-----	46.5	46.0	54.9	200	0	10592	9939	653
III型	200	30.0	28.2	54.2	-----	41.7	41.3	47.7	136	0	289	269	20
現代文	150	54.7	54.6	60.4	-----	47.0	46.9	50.1	126	0	6108	5913	195
現・古	200	82.3	82.1	84.3	-----	49.0	49.0	50.0	162	0	25450	23788	1662
現古漢	200	72.3	71.1	86.5	-----	47.3	46.8	52.5	186	0	32574	29960	2614
物理基礎	50	14.2	14.3	10.0	-----	44.6	44.6	39.7	36	0	119	117	2
物理	100	15.0	14.4	31.8	-----	38.8	38.5	47.3	92	0	481	465	16
化学基礎	50	13.2	13.2	12.9	-----	44.6	44.6	44.2	47	0	1002	988	14
化学	100	15.8	15.3	35.9	-----	39.7	39.5	50.7	83	0	732	716	16
生物基礎	50	19.7	19.7	20.8	-----	46.1	46.1	47.6	45	0	1536	1521	15
生物	100	26.7	26.5	37.1	-----	39.6	39.5	46.0	84	0	456	446	10
地学基礎	50	13.9	13.9		-----	44.5	44.5		38	0	184	184	
地学	100	13.8	13.8		-----	36.8	36.8		54	0	8	8	
世界史	100	37.9	37.0	48.8	-----	48.7	48.2	54.2	98	0	17928	16635	1293
日本史	100	31.8	30.7	45.8	-----	49.8	49.2	57.7	100	0	29737	27668	2069
地理	100	26.7	26.0	39.9	-----	45.8	45.4	53.6	87	0	2314	2201	113
倫理	100	22.9	22.9	17.0	-----	43.7	43.7	39.9	89	0	905	902	3
政治経済	100	31.6	31.0	45.7	-----	48.2	47.8	59.1	99	0	11522	11062	460

◆教科科目別設問別成績表

英 語

設問 ト列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最 高 点	最 低 点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		200	72.5	70.5	92.8		37.4	196	0	260630	237090	23540
1	リスニング	15	8.4	8.4	9.7		4.2	15	0	160364	156851	3513
2	中文空所補充	15	7.5	7.2	8.7		4.0	15	0	100262	80235	20027
3	文法・語法	20	10.6	10.4	12.5		3.9	20	0	260630	237090	23540
4	総合問題	60	26.0	25.2	33.5		14.0	60	0	260630	237090	23540
5	総合問題	60	17.1	16.4	24.2		13.8	60	0	260630	237090	23540
6	英作文（整序・本格・自由）	45	10.8	10.5	13.7		9.1	45	0	260630	237090	23540

数学Ⅰ型

設問 ト列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最 高 点	最 低 点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒	
		100	30.9	30.8	37.5	24.0	31.7	21.0		9389	9248	141	
1	有理数と無理数、集合、三角比	60	20.3	20.2	23.6	16.6	20.7	13.1	60	0	9389	9248	141
2	放物線とx軸の位置関係	40	7.5	7.2	11.8	7.3		8.4	40	0	1011	990	21
3	カードに書かれた数についての確率	40	12.4	12.3	16.0		12.4	12.6	40	0	5844	5754	90
4	余弦定理、方べきの定理、面積比	40	8.2	8.1	9.1		8.2	7.8	40	0	2463	2434	29

数学Ⅱ型

設問 ト列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最 高 点	最 低 点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒	
		200	64.1	62.3	91.9	48.4	66.2	36.3		82414	77311	5103	
1	有理数と無理数、三角関数、図形	50	20.7	20.2	28.3	15.7	21.4	11.5	50	0	82414	77311	5103
2	放物線で囲む部分の面積と最大値	50	19.5	18.9	28.7	13.7	20.2	14.3	50	0	82414	77311	5103
3	円と直線、2つの円が接する条件	50	14.5	14.2	18.9	10.9	15.0	9.1	50	0	82414	77311	5103
4	対数関数を含む方程式の解の個数	50	9.9	9.6	16.9	9.9		10.6	50	0	5934	5695	239
5	確率を求め、漸化式を作る	50	8.3	7.9	15.0	5.3	8.6	8.9	50	0	46189	43489	2700
6	直線と平面が垂直になる条件、体積	50	11.5	11.0	17.3		11.5	9.3	50	0	29593	27466	2127

数学Ⅲ型

設問 ト列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最 高 点	最 低 点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒	
		200	63.8	60.2	87.1	63.8		40.8		100471	86780	13691	
1	平面図形、双曲線、区分求積法	40	19.8	19.0	25.0	19.8		10.6	40	0	100471	86780	13691
2	x軸まわり、y軸まわりの回転体	40	13.9	13.0	19.7	13.9		13.0	40	0	100471	86780	13691
3	確率を求め、漸化式を作る	40	10.3	9.7	14.3	10.3		10.2	40	0	100471	86780	13691
4	直線と平面が垂直になる条件、体積	40	8.4	7.7	12.8	8.4		7.8	40	0	100471	86780	13691
5	運動して動く点の軌跡、垂直条件	40	15.1	14.5	18.5	15.1		10.5	40	0	55698	47284	8414
6	微分法、定積分と不等式の証明	40	6.9	6.4	10.7	6.9		7.0	40	0	43470	38416	5054

現代文型

設問 ト列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最 高 点	最 低 点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		150	60.1	59.6	70.2		17.9	148	0	13875	13274	601
1	現代文（評論）	50	15.2	15.1	18.0		6.4	50	0	13875	13274	601
2	現代文（評論）	50	19.1	19.0	23.3		8.1	49	0	13875	13274	601
5	現代文（随筆）	50	25.7	25.6	28.9		9.0	50	0	13875	13274	601

現・古型

設問 ト列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最 高 点	最 低 点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		200	84.4	84.1	88.3		22.3	169	0	31920	29683	2237
1	現代文（評論）	50	16.8	16.8	17.5		6.3	41	0	31920	29683	2237
2	現代文（評論）	50	22.0	21.9	23.2		7.9	48	0	31920	29683	2237
3	古文（説話）	50	17.7	17.6	19.1		8.9	49	0	31920	29683	2237
5	現代文（随筆）	50	27.9	27.9	28.5		8.5	48	0	31920	29683	2237

現・古・漢型

設問 ト列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最 高 点	最 低 点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		200	79.7	78.7	95.5		27.1	191	0	130400	122481	7919
1	現代文（評論）	50	18.1	18.0	20.0		6.6	50	0	130400	122481	7919
2	現代文（評論）	50	24.4	24.1	27.8		8.3	50	0	130400	122481	7919
3	古文（説話）	50	20.7	20.3	26.0		9.6	50	0	130400	122481	7919
4	漢文（随筆）	50	16.5	16.2	21.7		10.5	50	0	130400	122481	7919

国 語

設問 ト列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最 高 点	最 低 点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
1	現代文（評論）	50	17.7	17.6	19.4		6.6	50	0	176195	165438	10757
2	現代文（評論）	50	23.5	23.3	26.6		8.3	50	0	176195	165438	10757
3	古文（説話）	50	20.1	19.8	24.5		9.5	50	0	162320	152164	10156
4	漢文（随筆）	50	16.5	16.2	21.7		10.5	50	0	130400	122481	7919
5	現代文（随筆）	50	27.3	27.2	28.6		8.7	50	0	45795	42957	2838

物理基礎

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		50	19.0	19.0	18.9	8.7	49	0	1478	1455	23
1	仕事と力学的エネルギー	30	8.1	8.1	8.8	5.4	29	0	1478	1455	23
2	抵抗の特徴と電気回路	20	10.9	10.9	10.1	4.7	20	0	1478	1455	23

物理

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	37.1	35.2	51.0	19.7	100	0	87082	76742	10340
1	単振動	34	12.1	11.4	17.3	7.6	34	0	87082	76742	10340
2	光の干渉	33	14.0	13.4	18.5	8.3	33	0	87082	76742	10340
3	電磁誘導	33	11.1	10.5	15.2	7.2	33	0	87082	76742	10340

化学基礎

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		50	18.1	18.1	20.7	9.0	49	0	5693	5618	75
1	物質の構成、化学反応の量的関係	25	10.8	10.8	12.1	4.9	25	0	5693	5618	75
2	酸と塩基、酸化還元反応	25	7.3	7.3	8.5	5.1	25	0	5693	5618	75

化学

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	34.6	32.7	48.5	18.3	100	0	107441	94104	13337
1	電池、電気分解	22	11.0	10.6	14.4	6.0	22	0	107441	94104	13337
2	遷移元素、水溶液中の溶解平衡	24	8.3	7.9	11.1	4.9	24	0	107441	94104	13337
3	芳香族化合物、糖類	30	9.9	9.2	14.8	6.5	30	0	107441	94104	13337
4	反応速度、化学平衡	24	5.5	5.1	8.1	4.7	24	0	107441	94104	13337

生物基礎

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		50	22.6	22.6	24.3	7.5	45	0	7818	7725	93
1	ゲノムと遺伝子発現	16	6.1	6.1	6.2	2.8	16	0	7818	7725	93
2	自律神経の働きと体温調節	17	10.0	10.0	10.8	3.4	17	0	7818	7725	93
3	植生の遷移	17	6.5	6.5	7.3	3.2	17	0	7818	7725	93

生物

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	43.6	41.9	56.0	16.3	98	0	30641	26913	3728
1	生体膜、オートファジー	25	13.3	12.8	17.1	6.0	25	0	30641	26913	3728
2	両生類の発生、ノックアウトマウス	25	10.2	9.7	13.5	4.4	25	0	30641	26913	3728
3	動物の行動と神経回路	25	10.5	10.2	12.9	4.5	25	0	30641	26913	3728
4	花芽形成の調節とABCモデル	25	9.5	9.1	12.5	5.3	25	0	30641	26913	3728

地学基礎

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		50	18.7	18.7	13.7	8.6	48	0	737	731	6
1	大気の大気構造と地球環境	15	9.0	9.1	7.7	2.9	15	0	737	731	6
2	銀河系と宇宙の誕生	18	4.2	4.2	3.5	3.8	18	0	737	731	6
3	マグマと火山・火成岩	9	3.1	3.2	1.8	2.2	9	0	737	731	6
4	地質調査	8	2.2	2.3	0.7	2.0	8	0	737	731	6

地学

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	40.2	38.8	45.1	20.0	91	0	275	214	61
1	地球の形と地磁気	20	9.6	9.2	11.3	4.9	20	0	275	214	61
2	造山運動と日本列島の地史	20	7.6	7.2	8.9	4.6	20	0	275	214	61
3	地質断面図の読み取り	20	7.9	7.5	9.4	4.9	20	0	275	214	61
4	地球上の炭素の循環	20	9.4	9.3	9.5	4.8	20	0	275	214	61
5	H R図に見られる恒星の進化	20	5.7	5.6	6.1	5.3	20	0	275	214	61

世界史

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	40.5	39.6	54.5	19.8	100	0	37723	35232	2491
1	動力の歴史	26	11.2	10.9	14.8	5.7	26	0	37723	35232	2491
2	言語と国家	24	10.7	10.4	13.8	5.1	24	0	37723	35232	2491
3	近世以降の中央アジア	24	9.4	9.1	13.1	5.7	24	0	37723	35232	2491
4	大英博物館の収蔵品	26	9.3	9.0	12.8	5.6	26	0	37723	35232	2491

日本史

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	32.2	31.3	47.2	17.7	100	0	57799	54479	3320
1	平安～江戸時代の将軍	30	13.0	12.7	18.2	7.0	30	0	57799	54479	3320
2	江戸時代の交通と流通	20	4.3	4.2	7.3	3.6	20	0	57799	54479	3320
3	近代の日朝・日韓関係	20	7.4	7.2	10.8	4.9	20	0	57799	54479	3320
4	大正～昭和期の社会運動	30	7.4	7.2	10.9	5.6	30	0	57799	54479	3320

地理

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	33.8	32.8	50.3	17.1	95	0	11240	10578	662
1	高山地域の自然と生活	25	12.0	11.8	15.4	4.4	25	0	11240	10578	662
2	林業・水産業と資源・エネルギー	25	10.2	10.0	14.0	5.0	24	0	11240	10578	662
3	人口と都市	25	5.1	4.8	9.8	4.9	25	0	11240	10578	662
4	アフリカの総合地誌	25	6.4	6.2	11.1	5.3	25	0	11240	10578	662

倫理

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	33.0	32.9	51.6	15.9	96	0	4692	4645	47
1	国際化と倫理的課題	24	8.7	8.7	12.8	4.0	24	0	4692	4645	47
2	東西の源流思想	26	8.4	8.3	13.4	5.4	26	0	4692	4645	47
3	日本の近現代思想	24	6.0	5.9	10.4	4.1	24	0	4692	4645	47
4	西洋の近現代思想	26	10.0	9.9	14.9	6.0	26	0	4692	4645	47

政治・経済

設問 トク	設問 内容	配点	平均点			標準 偏差	最高点	最低点	人数		
			全 体	現 役	高 卒				全 体	現 役	高 卒
		100	33.9	33.7	44.6	13.0	99	0	30269	29481	788
1	日本国憲法をめぐる諸問題	20	7.1	7.0	10.1	3.6	20	0	30269	29481	788
2	国民福祉の現状と課題	20	7.6	7.6	10.0	3.7	20	0	30269	29481	788
3	戦後の国際政治と日本外交	20	8.4	8.3	10.7	4.0	20	0	30269	29481	788
4	戦後の国際経済	20	4.3	4.3	6.1	3.0	20	0	30269	29481	788
5	現代世界の諸問題	20	6.5	6.5	7.6	3.0	20	0	30269	29481	788

小問(単位問)別平均点 〈英語〉

英 語 受験者数： 260630 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	リスニング	15	8.4	1.1	3	1.3		○	
				1.2	3	2.3		○	
				1.3	3	2.2		○	
				1.4	3	1.6		○	
				1.5	3	1.1		○	
2	中文空所補充	15	7.5	2(1)	3	1.6		○	
				2(2)	3	1.6		○	
				2(3)	3	1.3		○	
				2(4)	3	1.7		○	
				2(5)	3	1.3		○	
3	文法・語法	20	10.6	3.A.1	2	1.7	○		
				3.A.2	2	1.0	○		
				3.A.3	2	0.9	○		
				3.A.4	2	1.2	○		
				3.A.5	2	1.0	○		
				3.A.6	2	1.3	○		
				3.A.7	2	0.7	○		
				3.A.8	2	0.6	○		
				3.B.1	2	1.3	○		
				3.B.2	2	1.0	○		
4	総合問題	60	26.0	4.問1	6	1.7		○	
				4.問2	5	4.3		○	
				4.問3	17	5.1		○	
				4.問4	12	7.3		○	
				4.問5	10	2.6		○	
				4.問6	5	1.6		○	
				4.問7	5	3.4		○	
5	総合問題	60	17.1	5.問1	14	3.3		○	
				5.問2	5	0.9		○	
				5.問3	5	2.6		○	
				5.問4	8	2.1		○	
				5.問5	10	2.5		○	
				5.問6	10	2.9		○	
				5.問7	8	2.9		○	
6	英作文(整序・本格・自由)	45	10.8	6.A.1	4	0.7	○		
				6.A.2	4	0.1	○		
				6.A.3	4	0.7	○		
				6.B(1)	7	1.4		○	○
				6.B(2)	10	2.1		○	○
				6.C	16	5.7			○

小問(単位問)別平均点 〈数学I型〉

I 型 受験者数： 9389 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	有理数と無理数、集合、三角比	60	20.3	1(1)(i)	4	3.5	○		
				1(1)(ii)	6	1.4	○		
				1(2)(i)	8	4.6	○		
				1(2)(ii)	4	0.4	○		
				1(2)(iii)	4	0.3	○		
				1(3)(i)	6	1.8	○		
				1(3)(ii)	10	1.4	○		
				1(4)(i)	6	3.5	○		
				1(4)(ii)	6	2.1	○		
				1(4)(iii)	6	1.3	○		
				2	放物線とx軸の位置関係	40	7.3	2(1)	14
2(2)	12	1.5						○	
2(3)	14	0.1						○	
3	カードに書かれた数についての確率	40	12.4	3(1)	10	4.7	○		
				3(2)	12	5.0	○		
				3(3)	12	2.4		○	
				3(4)	6	0.2		○	
4	余弦定理、方べきの定理、面積比	40	8.2	4(1)	12	6.6	○		
				4(2)	6	0.4		○	○
				4(3)	10	1.0	○		
				4(4)	12	0.1		○	

小問(単位問)別平均点〈数学Ⅱ型〉

Ⅱ型 受験者数： 82414 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	有理数と無理数、三角関数、図形	50	20.7	1(1)(i)	3	2.8	○		
				1(1)(ii)	6	2.8	○		
				1(2)(i)	5	2.0	○		
				1(2)(ii)	5	1.9	○		
				1(2)(iii)	5	0.4	○		
				1(3)(i)	4	2.1	○		
				1(3)(ii)	9	3.9	○		
				1(4)(i)	4	3.2	○		
				1(4)(ii)	9	1.6	○		
				2	放物線で囲む部分の面積と最大値	50	19.5	2(1)	10
2(2)	18	7.5						○	
2(3)	22	3.3						○	
3	円と直線、2つの円が接する条件	50	14.5	3(1)	12	8.9	○		
				3(2)(i)	14	5.3		○	
				3(2)(ii)	24	0.3		○	○
4	対数関数を含む方程式の解の個数	50	9.9	4(1)	16	5.3		○	
				4(2)	16	4.0	○		
				4(3)	18	0.6		○	
				5(1)	9	5.8	○		
5	確率を求め、漸化式を作る	50	8.3	5(2)	23	2.3		○	
				5(3)	18	0.3		○	
				6(1)	12	7.4	○		
6	直線と平面が垂直になる条件、体積	50	11.5	6(2)	18	4.0		○	
				6(3)(i)	10	0.1		○	○
				6(3)(ii)	10	0.0		○	○

小問(単位問)別平均点〈数学Ⅲ型〉

Ⅲ型 受験者数： 100471 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	平面図形、双曲線、区分求積法	40	19.8	1(1)(i)	3	2.5	○		
				1(1)(ii)	7	4.6	○		
				1(2)(i)	3	2.7	○		
				1(2)(ii)	7	2.3	○		
				1(3)(i)	6	3.2	○		
				1(3)(ii)	4	1.1	○		
				1(4)	10	3.5	○		
				2(1)	10	5.9	○		
				2(2)	16	5.6	○		
				2(3)	14	2.5			○
3	確率を求め、漸化式を作る	40	10.3	3(1)	6	4.5	○		
				3(2)	18	4.9		○	
				3(3)	16	1.0		○	
4	直線と平面が垂直になる条件、体積	40	8.4	4(1)	6	3.8	○		
				4(2)	14	4.1		○	
				4(3)(i)	10	0.4		○	○
				4(3)(ii)	10	0.1		○	○
5	運動して動く点の軌跡、垂直条件	40	15.1	5(1)	10	6.9	○		
				5(2)(i)	15	7.6		○	
				5(2)(ii)	15	0.6		○	
6	微分法、定積分と不等式の証明	40	6.9	6(1)	12	5.3	○		
				6(2)	16	1.5		○	
				6(3)	12	0.1		○	

小問(単位問)別平均点 〈国語〉

現代文 受験者数： 13875 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	現代文(評論)	50	15.2	1.問1	10	5.2		○					
				1.問2	14	1.5		○	○				
				1.問3	16	4.3		○	○				
				1.問4	10	4.3		○					
2	現代文(評論)	50	19.1	2.問1.a	2	1.2		○					
				2.問1.b	2	1.7		○					
				2.問1.c	2	0.4		○					
				2.問1.d	2	0.8		○					
				2.問1.e	2	1.2		○					
				2.問2	10	4.6			○				
				2.問3	4	1.6			○				
				2.問4	16	3.0			○	○			
				2.問5	10	4.8			○				
				5	現代文(随筆)	50	25.7	5.問1.a	2	1.8		○	
								5.問1.b	2	1.9		○	
5.問1.c	2	1.9						○					
5.問1.d	2	1.9						○					
5.問2	8	5.5							○				
5.問3	7	3.0							○				
5.問4	7	4.7							○				
5.問5	14	3.0							○	○			
5.問6	6	2.0			○								

小問(単位問)別平均点 〈国語〉

現・古 受験者数： 31920 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	現代文(評論)	50	16.8	1.問1	10	5.7		○					
				1.問2	14	1.8		○	○				
				1.問3	16	4.6		○	○				
				1.問4	10	4.7		○					
2	現代文(評論)	50	22.0	2.問1.a	2	1.4		○					
				2.問1.b	2	1.8		○					
				2.問1.c	2	0.6		○					
				2.問1.d	2	1.0		○					
				2.問1.e	2	1.3		○					
				2.問2	10	5.2			○				
				2.問3	4	2.0			○				
				2.問4	16	3.8			○	○			
				2.問5	10	4.9			○				
				3	古文(説話)	50	17.7	3.問1.a	2	1.2		○	
								3.問1.b	2	1.6		○	
3.問1.c	2	1.4						○					
3.問1.d	2	1.3						○					
3.問2.1	4	2.5						○					
3.問2.3	4	2.3						○					
3.問2.4	4	1.9						○					
3.問3	9	1.4							○	○			
3.問4.A	6	0.4							○	○			
3.問4.B	6	0.6							○	○			
3.問4.C	6	2.0							○	○			
3.問5	3	0.9							○				
5	現代文(随筆)	50	27.9					5.問1.a	2	1.9		○	
								5.問1.b	2	1.9		○	
				5.問1.c	2	1.9		○					
				5.問1.d	2	1.9		○					
				5.問2	8	5.9			○				
				5.問3	7	3.5			○				
				5.問4	7	5.3			○				
				5.問5	14	3.3			○	○			
5.問6	6	2.5			○								

小問(単位問)別平均点〈国語〉

現古漢

受験者数： 130400 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	現代文(評論)	50	18.1	1.問1	10	6.4		○					
				1.問2	14	2.1		○	○				
				1.問3	16	4.7		○	○				
				1.問4	10	5.0		○					
2	現代文(評論)	50	24.4	2.問1.a	2	1.4		○					
				2.問1.b	2	1.8		○					
				2.問1.c	2	0.8		○					
				2.問1.d	2	1.1		○					
				2.問1.e	2	1.5		○					
				2.問2	10	5.6			○				
				2.問3	4	2.4			○				
				2.問4	16	4.4			○	○			
				2.問5	10	5.4			○				
				3	古文(説話)	50	20.7	3.問1.a	2	1.3		○	
3.問1.b	2	1.7						○					
3.問1.c	2	1.6						○					
3.問1.d	2	1.4						○					
3.問2.1	4	2.7						○					
3.問2.3	4	2.3						○					
3.問2.4	4	2.1						○					
3.問3	9	2.1							○	○			
3.問4.A	6	0.8							○	○			
3.問4.B	6	0.9							○	○			
3.問4.C	6	2.8							○	○			
3.問5	3	1.0						○					
4	漢文(随筆)	50	16.5					4.問1.イ	2	1.7		○	
								4.問1.ロ	2	0.9		○	
								4.問1.ハ	2	0.2		○	
				4.問2	12	2.8			○				
				4.問3	6	1.5			○				
				4.問4	7	3.6			○				
				4.問5	8	2.5			○	○			
				4.問6	5	1.7			○				
4.問7	6	1.7			○								

小問(単位問)別平均点 〈物理基礎〉

物理基礎 受験者数： 1478 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	仕事と力学的エネルギー	30	8.1	1.問1(1)1張力	2	1.1	○						
				1.問1(1)2抗力	2	0.6	○						
				1.問1(2)1P	2	1.6	○						
				1.問1(2)2Q	2	1.5	○						
				1.問2	3	1.3	○						
				1.問3.WP	2	0.7	○						
				1.問3.WQ	2	0.5	○						
				1.問4	3	0.1		○					
				1.問5	3	0.3		○					
				1.問6	3	0.1	○						
				1.問7	3	0.3	○						
				1.問8	3	0.1		○					
				2	抵抗の特徴と電気回路	20	10.9	2.問1(ア)	2	1.7		○	
								2.問1(イ)	2	1.8		○	
								2.問1(ウ)	2	1.6	○		
								2.問1(エ)	2	0.3	○		
2.問2.1電流	2	1.4	○										
2.問2.2電力	2	1.2	○										
2.問3	2	1.2	○										
2.問4	2	1.0	○										
2.問5	2	0.3	○										
2.問6	2	0.2	○										

小問(単位問)別平均点 〈物理〉

物理 受験者数： 87082 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	単振動	34	12.1	1.問1	2	1.8	○						
				1.問2	3	1.9	○						
				1.問3	3	1.4	○						
				1.問4	3	2.5	○						
				1.問5	8	1.9			○				
				1.問6	3	0.5			○				
				1.問7(ア)	3	0.8	○						
				1.問7(イ)	3	0.7	○						
				1.問7(ウ)	3	0.5			○				
				1.問8	3	0.0			○				
				2	光の干渉	33	14.0	2.問1(ア)	2	1.8	○		
								2.問1(イ)	2	1.7	○		
								2.問1(ウ)	2	1.6	○		
								2.問1(エ)	2	1.0	○		
								2.問1(オ)	2	1.1	○		
								2.問1(カ)	2	0.8	○		
2.問2	3	1.5	○										
2.問3.1厚さ	2	0.6	○										
2.問3.2本数	2	0.5	○										
2.問4	3	1.0	○										
2.問5	2	1.3							○				
2.問6	3	1.0							○				
2.問7	3	0.0							○				
2.問8	3	0.0							○				
3	電磁誘導	33	11.1					3.問1	3	2.6	○		
								3.問2.1大きさ	2	1.6	○		
				3.問2.2向き	1	0.7	○						
				3.問3	3	1.7	○						
				3.問4	3	0.7	○						
				3.問5.1大きさ	3	0.7			○				
				3.問5.2向き	2	1.2			○				
				3.問6	4	0.4			○				
				3.問7	4	0.9	○						
				3.問8	4	0.5			○				
				3.問9	4	0.1			○				

小問(単位問)別平均点 〈化学基礎〉

化学基礎

受験者数： 5693 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	物質の構成、化学反応の量的関係	25	10.8	1.問1	2	0.5	○						
				1.問2(1)	2	0.9	○						
				1.問2(2)	1	0.6	○						
				1.問2(3)	1	0.7	○						
				1.問3.a	1	0.7	○						
				1.問3.b	1	0.7	○						
				1.問3.c	1	0.7	○						
				1.問4.a	2	1.1	○						
				1.問4.b	2	0.8	○						
				1.問4.c	2	1.7	○						
				1.問5	2	1.2	○						
				1.問6	3	0.8	○						
				1.問7	2	0.3		○	○				
				1.問8	3	0.3		○					
				2	酸と塩基、酸化還元反応	25	7.3	2.問1	2	1.1	○		
								2.問2	2	0.6	○		
2.問3	2	1.2	○										
2.問4.あ	1	0.4	○										
2.問4.い	1	0.5	○										
2.問5(1)	3	1.4	○										
2.問5(2)	3	0.1						○					
2.問5(3)	2	0.8	○										
2.問5(4)	2	0.8	○										
2.問5(5)	2	0.3	○										
2.問5(6)	3	0.2	○										
2.問5(7)	2	0.0	○										

小問(単位問)別平均点 〈化学〉

化学

受験者数： 107441 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	電池、電気分解	22	11.0	1.問1	2	1.8	○						
				1.問2	2	1.0	○						
				1.問3	3	1.7	○						
				1.問4	3	1.7		○					
				1.問5	2	1.1	○						
				1.問6.1電極a	2	0.8	○						
				1.問6.2電極c	2	1.0	○						
				1.問7	3	1.3	○						
				1.問8	3	0.6		○					
				2	遷移元素、水溶液中の溶解平衡	24	8.3	2.問1	2	1.6	○		
								2.問2	2	1.5	○		
								2.問3	2	0.5	○		
								2.問4(1)	2	1.0	○		
2.問4(2)	2	0.2	○										
2.問5	2	0.8							○				
2.問6(1)	2	0.8	○										
2.問6(2)	2	0.7						○					
2.問6(3)	2	0.5						○					
2.問6(4)	3	0.7						○					
2.問6(5)	3	0.1						○					
3	芳香族化合物、糖類	30	9.9					3.問1	2	1.3	○		
								3.問2	2	0.6		○	
				3.問3(1)1	1	0.7	○						
				3.問3(1)2	1	0.4	○						
				3.問3(2)	2	0.5	○						
				3.問4	2	0.2	○						
				3.問5	2	0.3	○						
				3.問6	2	0.7			○				
				3.問7	3	0.1			○				
				3.問8	2	1.0	○						
				3.問9.あ	2	0.8	○						
				3.問9.い	2	0.8	○						
				3.問10(1)	2	0.9	○						
3.問10(2)	2	1.2	○										
3.問11	3	0.3			○								
4	反応速度、化学平衡	24	5.5	4.問1	3	0.9	○						
				4.問2	3	1.0	○						
				4.問3	3	0.4		○					
				4.問4(1)	2	1.3	○						
				4.問4(2)	2	1.1	○						
				4.問5	3	0.4			○				
				4.問6	2	0.4	○						
				4.問7	3	0.1			○				
4.問8	3	0.0			○								

小問(単位問)別平均点 〈生物基礎〉

生物基礎 受験者数： 7818 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	ゲノムと遺伝子発現	16	6.1	1.問1.1	2	1.2	○						
				1.問1.2	2	1.4	○						
				1.問2(1)	1	0.4	○						
				1.問2(2)	3	0.1		○	○				
				1.問3(1)	2	0.2		○					
				1.問3(2)	2	1.6	○						
				1.問3(3)i	1	0.5		○					
				1.問3(3)ii	3	0.6		○					
				2	自律神経の働きと体温調節	17	10.0	2.問1.1	2	1.5	○		
								2.問1.2	2	1.6	○		
2.問2	2	1.4	○										
2.問3	2	0.8	○										
2.問4.1	1	0.9						○					
2.問4.2	1	0.6						○					
2.問4.3	1	0.6						○					
2.問4.4	1	0.5						○					
2.問4.5	1	0.7						○					
2.問5(1)	1	0.5							○				
2.問5(2)	3	0.8		○									
3	植生の遷移	17	6.5	3.問1.1	2	0.4	○						
				3.問1.2	2	1.1	○						
				3.問1.3	2	0.9	○						
				3.問2	2	1.6	○						
				3.問3(1)	1	0.3		○					
				3.問3(2)	3	0.1		○	○				
				3.問4(1)	2	0.7	○						
				3.問4(2)	3	1.5	○						

小問(単位問)別平均点 〈生物〉

生物 受験者数： 30641 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	生体膜、オートファジー	25	13.3	1.問1.1	2	1.1	○						
				1.問1.2	2	1.5	○						
				1.問1.3	2	1.3	○						
				1.問2(1)	3	1.3			○				
				1.問2(2)	2	1.1	○						
				1.問3	2	1.3	○						
				1.問4(1)	2	1.2		○					
				1.問4(2)	2	0.8		○					
				1.問5(1)	2	1.3		○					
				1.問5(2)	4	1.6		○	○				
				1.問5(3)	2	0.7		○					
				2	両生類の発生、ノックアウトマウス	25	10.2	2.問1.1	1	0.5	○		
								2.問1.2	1	0.9	○		
								2.問1.3	1	0.4	○		
								2.問1.4	1	0.4	○		
2.問1.5	1	0.7	○										
2.問1.6	1	0.6	○										
2.問2	2	1.2	○										
2.問3	2	1.0	○										
2.問4	3	1.8	○										
2.問5.7	2	0.3						○					
2.問5.8	2	0.7		○									
2.問5.9	2	0.7		○									
2.問5.10	2	0.7		○									
2.問6	4	0.2		○	○								
3	動物の行動と神経回路	25	10.5	3.問1.1	2	0.9	○						
				3.問1.2	2	0.5	○						
				3.問1.3	2	0.5	○						
				3.問2(1)	3	0.4			○				
				3.問2(2)i	1	0.7	○						
				3.問2(2)ii	1	0.9	○						
				3.問2(2)iii	1	0.7	○						
				3.問3	4	3.3	○						
				3.問4(1)	2	1.0	○						
				3.問4(2)	4	0.6		○	○				
3.問5	3	1.0		○	○								
4	花芽形成の調節とABCモデル	25	9.5	4.問1.1	2	1.1	○						
				4.問1.2	2	1.2	○						
				4.問1.3	2	1.1	○						
				4.問2(1)	2	1.6		○					
				4.問2(2)i	1	0.9		○					
				4.問2(2)ii	3	0.2		○	○				
				4.問3(1)	1	0.2	○						
				4.問3(2)	1	0.5	○						
				4.問4(1)	2	0.6		○					
				4.問4(2)	3	0.8		○					
4.問4(3)	2	0.7		○									
4.問5	4	0.6		○	○								

小問(単位問)別平均点 (地学基礎)

地学基礎 受験者数： 737 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	大気の構造と地球環境	15	9.0	1.問1.1	2	1.2	○		
				1.問1.2	2	1.7	○		
				1.問2	2	1.4		○	
				1.問3	2	0.1	○		
				1.問4	2	1.4	○		
				1.問5	2	0.9	○		
2	銀河系と宇宙の誕生	18	4.2	1.問6	3	2.3		○	○
				2.問1.1	1	0.1	○		
				2.問1.2	1	0.1	○		
				2.問2	3	0.2		○	
				2.問3	2	0.8	○		
				2.問4.3	2	0.5	○		
				2.問4.4	2	1.1	○		
2.問5	2	0.5	○						
3	マグマと火山・火成岩	9	3.1	2.問6	3	0.7			○
				2.問7	2	0.3			○
				3.問1.1	1	0.3	○		
				3.問1.2	1	0.9	○		
				3.問2	2	0.6	○		
4	地質調査	8	2.2	3.問3	2	0.6	○		
				3.問4	3	0.7			○
				4.問1.1	1	0.3	○		
				4.問1.2	1	0.2	○		
				4.問2	2	0.2	○		
				4.問3(1)	2	0.6	○		
				4.問3(2)	2	0.9		○	

小問(単位問)別平均点 (地学)

地学 受験者数： 275 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	地球の形と地磁気	20	9.6	1.問1.1	2	1.5	○						
				1.問1.2	2	0.8	○						
				1.問2	2	1.2	○						
				1.問3(1)	2	1.1		○					
				1.問3(2)	2	0.4		○					
				1.問3(3)	2	1.6		○					
				1.問4	2	0.7			○				
				1.問5	2	1.1	○						
				1.問6	4	1.1		○					
				2	造山運動と日本列島の地史	20	7.6	2.問1.1領域	1	0.9	○		
								2.問1.2名称	2	0.8			
2.問1.3特徴	1	0.4	○										
2.問2(1)	2	1.3						○					
2.問2(2)	3	1.0						○					
2.問3(1)	3	0.7							○				
2.問3(2)	2	0.1	○										
2.問3(3)	3	1.3	○										
2.問3(4)1記号	1	0.6						○					
2.問3(4)2名称	2	0.5						○					
3	地質断面図の読み取り	20	7.9	3.問1.1	2	1.1	○						
				3.問1.2	2	0.6	○						
				3.問1.3	2	0.5	○						
				3.問2(1)	2	1.3		○					
				3.問2(2)	3	0.6			○				
				3.問3(1)	2	0.5		○					
				3.問3(2)	2	1.1		○					
				3.問4	2	1.6		○					
				3.問5	3	0.7			○				
				4	地球上の炭素の循環	20	9.4	4.問1	2	1.0	○		
4.問2	3	1.1							○				
4.問3	2	1.5	○										
4.問4(1)	3	1.2						○					
4.問4(2)	2	1.1						○					
4.問4(3)	2	0.1						○					
4.問5(1)	2	0.9	○										
4.問5(2)	2	1.4						○					
4.問5(3)	2	1.1						○					
5	HR図に見られる恒星の進化	20	5.7					5.問1.1	2	0.8	○		
				5.問1.2	2	0.9	○						
				5.問1.3	2	0.9	○						
				5.問2	3	0.7			○				
				5.問3	2	0.2	○						
				5.問4(1)	2	0.3		○					
				5.問4(2)	2	0.6	○						
				5.問4(3)	2	0.5		○					
				5.問4(4)	3	0.8			○				

小問(単位問)別平均点 〈世界史〉

世界史 受験者数： 37723 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	動力の歴史	26	11.2	1.1	1	0.5	○						
				1.2	1	0.4	○						
				1.3	1	0.3	○						
				1.4	1	0.6	○						
				1.5	1	0.8	○						
				1.6	1	0.7	○						
				1.問1	2	1.1		○					
				1.問2	2	1.3	○						
				1.問3	2	1.1	○						
				1.問4	2	0.4	○						
				1.問5	2	0.7		○					
				1.問6	4	1.5		○	○				
				1.問7	2	0.8		○					
				1.問8	2	0.4	○						
				1.問9	2	0.5		○					
				2	言語と国家	24	10.7	2.1	1	0.8	○		
								2.2	1	0.2	○		
								2.3	1	0.1	○		
								2.4	1	0.4	○		
2.5	1	0.8	○										
2.6	1	0.8	○										
2.問1	2	0.9						○					
2.問2	2	0.5	○										
2.問3	2	1.0						○					
2.問4	2	0.6	○										
2.問5.i	2	0.3	○										
2.問5.ii	2	0.7						○					
2.問6	2	0.9						○					
2.問7	2	0.9						○					
2.問8	2	1.9	○										
3	近世以降の中央アジア	24	9.4	3.1	1	0.2	○						
				3.2	1	0.5	○						
				3.3	1	0.3	○						
				3.4	1	0.3	○						
				3.5	1	0.5	○						
				3.6	1	0.3	○						
				3.7	1	0.5	○						
				3.8	1	0.2	○						
				3.問1	2	0.5	○						
				3.問2	2	1.2		○					
				3.問3	2	0.7	○						
				3.問4	2	0.4		○					
				3.問5	2	1.0		○					
				3.問6	2	0.8		○					
				3.問7	2	1.2	○						
				3.問8	2	0.8	○						

小問(単位問)別平均点 〈世界史〉

世界史

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	大英博物館の収蔵品	26	9.3	4.1	1	0.3	○		
				4.2	1	0.2	○		
				4.3	1	0.5	○		
				4.4	1	0.4	○		
				4.5	1	0.1	○		
				4.問1.ア	1	0.3	○		
				4.問1.イ	1	0.5	○		
				4.問2	2	0.9		○	
				4.問3	2	1.0		○	
				4.問4	2	0.4	○		
				4.問5	2	1.0		○	
				4.問6	2	0.7	○		
				4.問7	2	0.9		○	
				4.問8	2	1.1		○	
4.問9	2	0.5		○					
4.問10	3	0.3		○	○				

小問(単位問)別平均点〈日本史〉

日本史 受験者数： 57799 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	平安～江戸時代の将軍	30	13.0	1.問1(i)	2	0.3	○		
				1.問1(ii)	2	0.6	○		
				1.問2	2	0.4	○		
				1.問3	2	1.1	○		
				1.問4	2	0.4	○		
				1.問5	2	1.1		○	
				1.問6	2	0.7	○		
				1.問7	2	1.0		○	
				1.問8	2	0.6	○		
				1.問9	2	1.2	○		
				1.問10.a	1	0.4	○		
				1.問10.b	1	0.8	○		
				1.問10.c	1	0.7	○		
				1.問10.d	1	0.5	○		
				1.問10.e	1	0.5	○		
				1.問10.f	1	0.6	○		
				1.問10.g	1	0.3	○		
				1.問10.h	1	0.5	○		
				1.問10.i	1	0.6	○		
				1.問10.j	1	0.4	○		
				2	江戸時代の交通と流通	20	4.3	2.問1	2
2.問2	2	0.6	○						
2.問3	2	0.4	○						
2.問4	2	0.2	○						
2.問5	2	0.2	○						
2.問6	2	0.3						○	
2.問7	2	0.8	○						
2.問8	2	0.7	○						
2.問9	2	0.3	○						
2.問10	2	0.3	○						
3	近代の日朝・日韓関係	20	7.4	3.問1	2	1.1	○		
				3.問2	2	1.0	○		
				3.問3	2	0.9		○	
				3.問4	2	0.7	○		
				3.問5	2	0.9	○		
				3.問6	2	0.6	○		
				3.問7	2	1.1	○		
				3.問8	2	0.2	○		
				3.問9	2	0.6		○	
				3.問10	2	0.4	○		

小問(単位問)別平均点〈日本史〉

日本史

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	大正～昭和期の社会運動	30	7.4	4.問1	2	1.2	○		
				4.問2	2	0.4	○		
				4.問3	2	0.2	○		
				4.問4	2	0.3	○		
				4.問5	2	1.1	○		
				4.問6	2	0.6	○		
				4.問7	2	0.5	○		
				4.問8	2	0.2		○	
				4.問9	2	0.3	○		
				4.問10	2	0.6		○	
				4.問11	2	0.8	○		
				4.問12	2	0.3	○		
				4.問13	2	0.6		○	
				4.問14	4	0.3		○	○

小問(単位問)別平均点 〈地理〉

地理 受験者数： 11240 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	高山地域の自然と生活	25	12.0	1.問1(1)1	2	0.8	○						
				1.問1(1)2	2	0.8	○						
				1.問1(2)	2	1.5			○				
				1.問1(3)	1	0.2			○				
				1.問2(1)	1	0.5			○				
				1.問2(2)	1	0.5			○				
				1.問3	4	1.4				○			
				1.問4.D	1	0.7			○				
				1.問4.F	1	0.4			○				
				1.問4.H	1	0.6			○				
				1.問5	2	0.8	○						
				1.問6(1)	1	0.6			○				
				1.問6(2)	2	0.8	○						
				1.問6(3)	2	1.3	○						
				1.問7	2	1.0			○				
				2	林業・水産業と資源・エネルギー	25	10.2	2.問1(1)	1	0.3		○	
								2.問1(2)	1	0.6		○	
								2.問2	1	0.3		○	
								2.問3.1	2	0.9	○		
								2.問3.2	2	0.8	○		
2.問3.3	2	1.6	○										
2.問3.4	2	1.2	○										
2.問3.5	2	1.0	○										
2.問4.あ	1	0.4	○										
2.問4.い	1	0.2	○										
2.問4.う	1	0.5	○										
2.問5	4	1.4							○				
2.問6	1	0.7							○				
2.問7.6	2	0.5	○										
2.問7.7	2	0.1	○										
3	人口と都市	25	5.1	3.問1(1)	1	0.4		○					
				3.問1(2)	1	0.5		○					
				3.問1(3)1	2	0.1	○						
				3.問1(3)2	2	0.6	○						
				3.問1(3)3	2	0.1	○						
				3.問1(3)4	2	0.3	○						
				3.問2(1)5	2	0.3	○						
				3.問2(1)6	2	0.5	○						
				3.問2(2)	3	0.7			○				
				3.問3(1)	2	0.3	○						
				3.問3(2)	2	0.3	○						
				3.問3(3)	2	0.4	○						
				3.問3(4)b	1	0.3			○				
3.問3(4)f	1	0.2			○								

小問(単位問)別平均点 〈地理〉

地理

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力	
4	アフリカの総合地誌	25	6.4	4.問1.1	2	0.8	○			
				4.問1.2	2	0.7	○			
				4.問1.3	2	0.1	○			
				4.問2	3	0.7			○	
				4.問3(1)	1	0.3			○	
				4.問3(2)	1	0.4			○	
				4.問4.A	1	0.3			○	
				4.問4.B	1	0.2			○	
				4.問4.D	1	0.4			○	
				4.問5.ア	1	0.4			○	
				4.問5.ウ	1	0.3			○	
				4.問5.オ	1	0.4			○	
				4.問6.4	2	0.2	○			
				4.問6.5	2	0.4	○			
				4.問6.6	2	0.7	○			
				4.問6.7	2	0.2	○			

小問(単位問)別平均点〈倫理〉

倫理 受験者数： 4692 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	国際化と倫理的課題	24	8.7	1.問1(1)1	2	0.1	○						
				1.問1(1)2	2	0.4	○						
				1.問1(2)	2	1.5		○					
				1.問2	2	0.1	○						
				1.問3(1)	2	1.2		○					
				1.問3(2)3	2	0.4	○						
				1.問3(2)4	2	0.4	○						
				1.問4	1	0.4	○						
				1.問5	2	0.7	○						
				1.問6(1)	2	1.1	○						
				1.問6(2)	1	0.8	○						
				1.問7(1)	2	0.3		○					
				1.問7(2)	2	1.4		○					
				2	東西の源流思想	26	8.4	2.問1	2	0.5	○		
								2.問2	2	0.6	○		
								2.問3	2	0.6		○	
								2.問4(1)	2	1.1	○		
2.問4(2)	2	0.5	○										
2.問5(1)	2	0.4	○										
2.問5(2)	2	0.8	○										
2.問5(3)	1	0.4	○										
2.問6.4	1	0.1	○										
2.問6.5	1	0.3	○										
2.問7	1	0.4	○										
2.問8	2	0.4		○									
2.問9	2	1.2	○										
2.問10	2	0.7	○										
2.問11	2	0.4			○								
3	日本の近現代思想	24	6.0	3.問1	1	0.2	○						
				3.問2	2	0.0	○						
				3.問3(1)	2	0.6	○						
				3.問3(2)	1	0.4	○						
				3.問4(1)2	1	0.1	○						
				3.問4(1)3	1	0.0	○						
				3.問4(2)	2	0.3	○						
				3.問5	2	0.7	○						
				3.問6	2	0.8	○						
				3.問7(1)	2	0.6		○					
				3.問7(2)	1	0.6	○						
				3.問7(3)	2	0.3	○						
				3.問8(1)	2	1.0		○					
3.問8(2)	1	0.0	○										
3.問9	2	0.3	○										

小問(単位問)別平均点〈倫理〉

倫理

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	西洋の近現代思想	26	10.0	4.問1	1	0.4	○		
				4.問2.2	2	0.3	○		
				4.問2.3	2	0.4	○		
				4.問3	2	0.9		○	
				4.問4	2	1.0		○	
				4.問5	2	0.7	○		
				4.問6	2	0.2		○	
				4.問7	2	0.7	○		
				4.問8	2	0.8	○		
				4.問9	2	1.1	○		
				4.問10	1	0.3	○		
				4.問11	2	0.9		○	
4.問12(1)	2	1.0	○						
4.問12(2)	2	1.2	○						

小問(単位問)別平均点 (政治経済)

政治経済 受験者数: 30269 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	日本国憲法をめぐる諸問題	20	7.1	1.問1.1	1	0.9	○						
				1.問1.2	1	0.4	○						
				1.問1.3	1	0.4	○						
				1.問2	2	0.7	○						
				1.問3	2	1.3	○						
				1.問4	1	0.1	○						
				1.問5(1)	2	0.3	○						
				1.問5(2)	2	0.8		○					
				1.問6	2	0.8			○				
				1.問7(1)	2	0.9	○						
				1.問7(2)	1	0.1							
				1.問7(3)	1	0.1	○						
				1.問8	2	0.2		○					
				2	国民福祉の現状と課題	20	7.6	2.問1	1	0.3	○		
								2.問2	1	0.2	○		
								2.問3(1)	2	1.6		○	
								2.問3(2)	1	0.1	○		
2.問4	2	1.0						○					
2.問5	2	0.7						○					
2.問6(1)	1	0.0	○										
2.問6(2)	1	0.6	○										
2.問7.3	1	0.3	○										
2.問7.4	1	0.3	○										
2.問8	2	0.4						○					
2.問9	2	0.9		○									
2.問10	1	0.5	○										
2.問11	2	0.8		○									
3	戦後の国際政治と日本外交	20	8.4	3.問1.1	1	0.3	○						
				3.問1.2	1	0.6	○						
				3.問2	1	0.3	○						
				3.問3	1	0.2	○						
				3.問4	2	1.2		○					
				3.問5(1)	1	0.5	○						
				3.問5(2)	2	0.5		○					
				3.問6(1)	2	0.6	○						
				3.問6(2)	1	0.2	○						
				3.問7(1)	1	0.3	○						
				3.問7(2)	2	0.9		○					
				3.問8	2	0.4		○					
				3.問9(1)	1	0.9	○						
3.問9(2)	2	1.5		○									

小問(単位問)別平均点 (政治経済)


政治経済

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
4	戦後の国際経済	20	4.3	4.問1.1	1	0.6	○						
				4.問1.2	1	0.0	○						
				4.問2	2	0.5		○					
				4.問3	2	0.1	○						
				4.問4	2	0.6		○					
				4.問5(1)A	1	0.2	○						
				4.問5(1)B	1	0.1		○					
				4.問5(2)	2	0.3		○					
				4.問6	2	0.5	○						
				4.問7	2	0.3	○						
				4.問8(1)	2	1.0		○					
				4.問8(2)	2	0.1	○						
				5	現代世界の諸問題	20	6.5	5.問1	2	0.1	○		
								5.問2	1	0.0	○		
5.問3	2	0.5						○					
5.問4(1)	1	0.2	○										
5.問4(2)	2	0.7	○										
5.問5	2	1.3						○					
5.問6	2	1.7	○										
5.問7(1)	1	0.0	○										
5.問7(2)	1	0.2						○					
5.問8	2	0.1	○										
5.問9(1)	1	0.5		○									
5.問9(2)	1	0.1	○										
5.問10	2	1.2	○										

数 学

学 習 対 策

ここでは、教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお、設問別アドバイス、採点基準、学力要素一覧表は  **模試ナビ** 河合塾 全統模試 学習ナビゲーター に掲載していますので、確認してください。

英 語

節のはたらきを意識しよう！

第4問 長文読解問題

文構造と文脈の正確な理解をもとに、和訳する問題

問3では第一に、形式目的語構文が理解できているかがポイントとなったが、これを見抜けず、文構造を無視した答案が散見された。このような重要構文については、本番の試験で多くの受験生が正しい答えを書いてくるため、できないと大きな差をつけられやすい。今回、文構造が把握できなかった人は、丁寧に復習をし、次に同様の問題が出題されたら正確に書けるようにしておきたい。次に、後半では(not ... any) more or less likely という表現についての解釈が求められた。ここでは、「可能性が高くも低くも(ない)」と訳すのが適切であるが、more or less 「多かれ少なかれ」を用いたものだと考え、誤訳してしまう答案も多く見られた。このような問題では、文脈から正確に意味を確定する必要がある。文構造の把握ができるようになってくる秋以降の課題は、文脈から適切な訳語を決定することだ。実践演習で訳語決定の力を養ってほしい。

文の構造を正確に把握し、答案に反映させよう！

第5問 長文読解問題

根拠箇所を見つけ、正確に説明する問題

問4は説明問題である。下線部の existing robotic braille readers 「従来のロボット点字リーダー」について、人間の読み方との違いを説明する問題であるが、根拠の箇所を取り違えた答案も少なからず見られた。本問では根拠の箇所を見つける際に、「人間の読み方との違い」が表れている箇所を特定する必要があり、which is not how humans read 「それは人間の読み方ではない」という関係代名詞節がそれにあたる。「人間の読み方ではない」ということは「人間の読み方との違い」を述べているのだと判断できたかがポイントである。この判断ができれば、根拠の箇所は比較的容易に見つけられただろう。このように、説明問題には解く際の正しい思考プロセスがあり、それを確認する作業こそが説明問題の学習の肝である。今回の問題でどう書いたらよいかわからなかった人や、何となく正解してしまった人は、日ごろの学習に、根拠箇所に至る思考プロセスの検証という作業を組み入れてほしい。説明問題がぐんと得意になるはずだ。

【数学 I 型】

典型問題を確実に解き切る力を養おう！

- ① (1) 数と式 無理数と有理数の関係
(4) 三角比 対称式の値

入試では難しい問題での出来より、頻出のテーマを含む問題での出来が大きな差になることが多い。

(1)は無理数と有理数の関係を用いて有理数 p, q の値を求める問題であり、(4)は三角比に関する対称式の値を求める問題である。

以下、個々の設問について細かく見ていこう。

(1)(i)は $\alpha=2+\sqrt{3}$ に対して $\frac{1}{\alpha}$ の値を求める設問である。有理化を用いて計算を行えばよく、出来はよかった。(ii)は等式 $p\alpha + \frac{q}{\alpha} = 1$ を満たす有理数 p, q の値を求める設問である。有理数、無理数についての基本が習得できていないと思われる答案が多く見られ、例えば $p = \frac{1}{2(2+\sqrt{3})}$ 、 $q = \frac{2+\sqrt{3}}{2}$ のように有理数でない p, q の値を答としている答案が多かった。一般に、有理数 s, t に対して $s+t\sqrt{3}=0$ ならば $s=t=0$ を用いることがポイントである。基本事項をしっかりと定着させておこう。また、 $p(2+\sqrt{3}) + \frac{q}{2+\sqrt{3}} = 1$ を $p(2+\sqrt{3})^2 + q = 2+\sqrt{3}$ と変形して考察している答案も散見された。このあと正しく計算できていれば問題ないが、(i)を用いて考察したほうが計算の面でも楽に解答できる。問題の流れをおさえておきたい。(4) $\sin\theta - \cos\theta = -\frac{1}{2}$ であるとき、(i)は $\sin\theta\cos\theta$ 、(ii)は $\sin\theta + \cos\theta$ 、(iii)は $\tan\theta + \frac{1}{\tan\theta}$ の値を求める設問である。(i)、(ii)の出来はよかったが、(iii)の出来に大きな差がついた。(ii)までの結果を用いて $\sin\theta, \cos\theta$ の値を求めたあと $\tan\theta$ の値を求めて計算している答案が多く見られた。正しく計算できていれば問題ないが、計算が複雑になり計算ミスをしている答案が多かった。

$$\tan\theta + \frac{1}{\tan\theta} = \frac{\sin\theta}{\cos\theta} + \frac{\cos\theta}{\sin\theta} = \frac{1}{\sin\theta\cos\theta}$$

と変形して(i)の結果を用いることがポイントであり、このように考えると計算も楽である。典型問題を確実に解き切ることを意識して復習しておこう。

国語

【現代文】

設問の要求に的確にこたえよう

第一問 問二

傍線部の内容を説明する問題

傍線部は「自然力との連結の手がかりを失った住居」とあり、設問はこの部分について「『住居』のどのようなあり方を言っているのか」と問うている。傍線部の直前には、「水」などの「生活に必要な物資は、全て近隣とは無関係に生産供給され」とあるので、〈住居の外部ですでに作りあげられた必要物資をたんに与えられる〉(採点基準c1)といった内容が抽出できる。また、第一段落に〈かつての住居は自給自足可能な空間的装置を自己所有していた〉とあることに注意して、そうした装置を失った(採点基準b)ということを指摘したい。しかし、これだけでは傍線部の「自然力との連結の手がかりを失った」ということをしっかりと説明したことにはならない。上記のポイントが〈自然の力を利用しない〉(採点基準a)ということの意味するときちんと指摘しなければならない。ただし、このaポイントを的確に書けた答案是少なかった。多く見られたのは、「自然との相関が切断された」「自然からの切断」といった本文中の表現をそのまま抜き出している答案である。これらの表現は、傍線部の「自然力との連結の手がかりを失った」ということの〈説明〉ではなく、単なる〈言い換え〉にすぎない。設問の要求を的確にとらえた上で、しっかりと〈説明〉することを心がけよう。

【古文】

解答作成には、傍線部の前だけでなく後にも注目を

第三問 問三

傍線部の内容を説明する問題

設問は、傍線部の意味を説明した上で、「その報いを全うする」とはどういうことを説明することを求めている。ここでは、指示語「その」の具体化も含めて「その報い」とはどういうことなのか、また、それを「全うする」とはどうすることなのかを説明する必要がある。傍線部は、母親の夢に現れた亡くなった娘が語る発言の中にある。したがって「その報い」が指し示す内容も、娘の発言中にあると

【数学Ⅲ型】

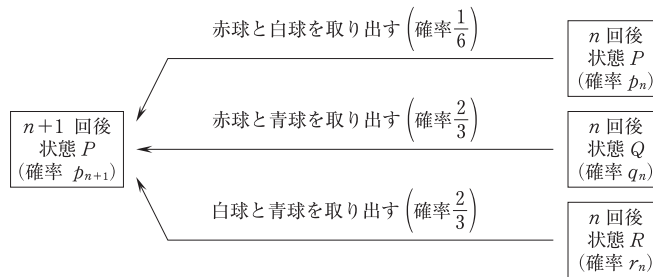
漸化式を立てるコツを身につけよう！

③ 場合の数・確率

状態推移を把握し、漸化式を利用して確率を求める問題

本問は、袋の中から2個の球を取り出すという操作を繰り返し行い、 n 回の操作後における事象の確率を問う問題であり、その確率を求めるには漸化式の利用が有効である。

この種の問題は入試問題の典型であり、頻度もかなり高い問題であるが、解いた経験があるかないかで大きく出来が分かれる。今回もその通りの結果となった。経験のない受験生は始めから何をしようのかわからず、そこで終わってしまっているのに対し、ある程度の経験を積んでいる受験生の答案では、漸化式の立式を容易に突破し、最後まで解き切れているものも多く見られた。特に、(3)の漸化式から一般項を求めるという部分については計算ミスで正しく答が出ていない答案もあったが、概ねの方針自体は正しいと思える答案が多かった。「数列」分野の典型作業とはいえ、受験生の習得度合いは高いことがうかがえた。漸化式を立てることに慣れていない受験生は、 $n+1$ 回の操作後に状態 P であるためには、「 n 回目の操作後はどのような状態なのか？」そして、「 $n+1$ 回目に何が起こればよいのか？」と考えてみるとよい。そうすると、次のような状態の推移が見えてくるはずである。



これにより、

$$p_{n+1} = \frac{1}{6}p_n + \frac{2}{3}q_n + \frac{2}{3}r_n$$

が得られる。 q_{n+1} や r_{n+1} についても同様の考えで漸化式を立てることができる。上記の図をコンパクトにまとめたものが「学習の手引き」の【解答】にある推移図である。本問のように操作を繰り返す問題では、1回の操作による状態の推移とその確率を把握することから考えるようにしよう。

【数学Ⅱ型】

図形を正確に捉え、正しく立式して計算しよう！

② 微積分総合

曲線によって囲まれる図形の面積の最大値を求める問題

本問は2曲線 $C_1: y=x^2$, $C_2: y=-x^2+6ax-4a^2$ によって囲まれる図形のうち $x \leq 1$ にある部分の面積 S を a を用いて表し、 S の最大値を求める問題である。(1)から計算ミスが散見され、(2)、(3)で差がついた。以下、個々の設問について細かく見ていこう。

(1)は C_1 , C_2 の交点の x 座標を求める設問である。 C_1 , C_2 の方程式を連立し、 y を消去して、 $2x^2-6ax+4a^2=0$ を解けばよいのだが、この左辺を平方完成し、左辺の2次関数のグラフにおける頂点の座標を答としている答案もあった。今、自分が行っている計算で何が求まるのかをしっかりと考えながら、正しい方向に計算を進めてほしい。

(2)は $a \leq x \leq 2a$ において、 C_1 と C_2 によって囲まれる図形の面積を求めればよく、 C_1 と C_2 の上下関係に注意して、

$$S = \int_a^{2a} \{(-x^2+6ax-4a^2) - x^2\} dx$$

と立式し、これを計算すればよい。しかし、問題文の「 $0 < a \leq \frac{1}{2}$ のとき」の条件の解釈を間違えて、積分範囲が $\int_0^{\frac{1}{2}}$ となっているものや、 \int_a^1 や \int_{2a}^1 などと間違えているものが目立った。また、 S を定積分で表さずに、

$$S = \frac{2}{6}(2a-a)^3$$

としている答案もいくつかあったが、これは S を正しく立式したとは認めず、減点している。曲線によって囲まれる図形の面積は、図形を正確に捉え、定積分を利用して正しい立式ができるように練習してほしい。

(3)についても(2)と同様に、 S の立式で間違えている答案が多かった。また、 $\frac{1}{2} \leq a < 1$ における S は a の3次関数として求まるが、この最大値を調べる際に、 S の増減表を記述せず、「 $a = \frac{3}{5}$ のとき S が最大となる」と決めつけている答案が散見された。 $\frac{dS}{da} = 0$ となる a の値を求めただけでは、 S の増減を調べたことにはならないため、説明として不十分である。考え方や根拠を記述によってしっかりと説明することを心掛けてほしい。

本問は決して難問というわけではなく、入試でもよく見られる標準的な問題である。こういった問題でミスなく解き切る力が合格には必要不可欠である。

考え、娘の発言内容を確認する。傍線部の前からは、娘は生きていた時に犯した罪によって羊の身を受けている、ということが読み取れる。ここで「因果応報(=前世や過去の行いの善悪に応じて、必ずその報いがあるということ)」という言葉の思い浮かべてほしい。「娘は、生前犯した罪によって、羊に生まれ変わった」、これが「その報い」である。では、それを「全うする(=最後までやり遂げる)」とはどうすることなのか。傍線部の後に、「明日、羊になって殺されようとしている」とある。つまり「羊として死ぬ」というのであるが、これが「全うする」の内容である。

解答作成にあたっては、主体「娘」を明示することを忘れないようにし、「その報い」については、解答欄に余裕があるので、「生前犯した罪」の具体的内容まで丁寧に記述したい。

【漢文】

反語の訳し方に気をつけ、文脈の中での意味を考えて、わかりやすく訳すこと

第四問 問五 現代語訳の問題

「然(しかれども)」は、逆接なので「しかし・そうではあるが」の意味であるが、直前の文からの流れで「そうはいっても」や「心の中で理解するのがよいとはいっても」と訳してもよい。「亦」には「～も同じように」といった意味もあるが、ここは反語文で用いられているので強意の意味で「いったい」などと訳せばよい(訳さなくても構わない)。「何ぞ～んや」は反語の句形であり、「どうして～しようか」あるいは「～しない」と訳す。「用(もちひる)」は「～する必要がある」という意味なので、「何ぞ～用ひんや」は「どうして～する必要があるか」あるいは「～する必要はない」と訳せばよい。ところが答案を見ると、「どうして～するのかわかろうか」などと疑問の意味に解釈できる解答が目立つ。反語と疑問の意味の違いがはっきりわかるように訳すことが必要である。また反語を「どうして～しようか、いや～しない」の訳していてもよいが、現代語訳としては「どうして～しようか」あるいは「～しない」と答える方がよい。以上から「何ぞ鬼を見るを用ひんや」は「どうして幽霊を見る必要があるか」あるいは「幽霊を見る必要はない」と訳せばよい。

理科

【物理基礎】

仕事とエネルギーの関係を正確に理解し、整理しておこう

第1問 問4～問6

2 物体系における力学的エネルギー保存則の利用および、仕事と力学的エネルギーとの関係を利用する問題

物体は外から受ける力がする仕事により、エネルギーを得ることができる。物体がもつ力学的エネルギーには、運動エネルギー、重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギー(弾性エネルギー)がある。物体にはたらく力のうち、重力とばねの弾性力は保存力とよばれる。保存力は位置エネルギーを使って仕事をする力であることから、その位置でもつ位置エネルギーを決めることができる。したがって、一つの物体において、仕事と力学的エネルギーとの関係は次のように表される。

(はじめの力学的エネルギー) + (保存力以外の力がする仕事) = (後の力学的エネルギー)

今回の問題では、保存力以外の力(非保存力)は糸の張力である。この関係式を小物体Pと小球Qについてそれぞれ立式することが大切である。それぞれの物体から得られた関係式から、小物体Pと小球Qをまとめて一つの物体(物体系)として仕事と力学的エネルギーの関係式を立式すると、Pにはたらく張力がする仕事とQにはたらく張力がする仕事の和は0となることがわかる。これより、小物体Pと小球Qをまとめた全体(物体系PQ)では、非保存力がする仕事は0となり、物体系の力学的エネルギーが保存されることが示される。単に、公式だけを形で覚えるのではなく、その公式がどの法則に基づいて導出されているのか、そのプロセスも理解しながら整理していく学習姿勢が大切である。

今回思っていたより得点できなかった受験生は、上に記した関係式や『学習の手引き』の解説を再度熟読して自信をつけよう。

【物理】

はたらく力を正確に描き、運動方程式を立てよう。

第1問 問5 物体と小球の運動方程式と単振動

単振動の振動現象をとらえるためには、振動中心、振幅、周期などを正確に求める必要があるが、それらを求めるためには、運動方程式を立てていくことが原則である。運動方程式を立てるには、正確に力を描くことが重要である。力を図示するときには、対象物体をしっかりとらえ、その物体にはたらく重力とその物体に接触しているものから受ける力を考えることが重要である。この問題では、小球には糸が接触しており、大きさ S の張力がはたらくので、小球の運動方程式は、 $ma = S - mg$ となる。物体には、糸とばねが接触しているので、大きさ S の張力と、ばねによる弾性力がかかる。ここで、弾性力の大きさを正確に求めることが重要である。弾性力の大きさは自然長からの伸び・縮みの長さに比例するので、 ky にはならない。 $y=0$ は物体と小球が静止していたときの位置であるから、ここでは既にばねは伸びており、その伸び d は、問4で求めた、 $d = \frac{(m+M)g}{k}$ である。よって、 $y=d$ のとき、ばねが自然長であり、 $y=0$ で、伸び d であるから、位置 y では、伸びは $d-y$ となる。よって、物体の運動方程式は、 $Ma = k(d-y) - S - Mg$ となる。(位置 y が、 $y < 0$ でも、 $y=0$ からの長さ $|y|$ が $-y$ なので、ばねの伸びは $d + (-y)$ となり、 $y < 0$ で考えても $y > 0$ のときと同様の式を得る。) $y > d$ では、 $d-y$ は負になるが、このときばねは縮むことになるので、縮みの長さが $y-d$ 、弾性力の向きが伸びのときと逆である。よって、運動方程式は、 $Ma = -k(y-d) - S - Mg$ となり、これを計算すれば、伸びのときと同様なので、ばねが伸びるとき、縮むときのどちらを考えてもよいことが分かる。小球の運動方程式と物体の運動方程式の和をとれば、 $(m+M)a = k(d-y) - (m+M)g$ となる。解説では、小球、物体を個別に考え運動方程式を立てたが、小球と物体が一体の運動方程式を最初から立てて、加速度を求めることもできる。その後、小球か物体のどちらかの運動方程式を立て、張力の大きさを求める手順で解答することもできる。ところで、小球と物体が一体の運動方程式を計算すると、 $(m+M)a = -ky$ となり、これは $y=0$ を振動中心として、単振動することを意味している。単振動の知識として、単振動の振動中心が力のつり合いの位置であることを覚えているならば、一体の運動方程式がこの形にならなければ、おかしいと判断し自分の立てた運動方程式が正しいかどうかの確認もできる。

【化学基礎】

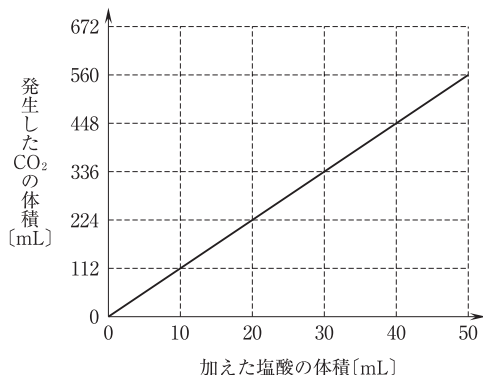
情報を整理し、的確に表現する力を身に付けよう！

第1問 問7

CaCO₃とHClが過不足なく反応する点を見つけ、加えた塩酸の体積と発生したCO₂の体積をグラフに表現する問題

入試を突破するために身に付けなければならない学力要素に「思考力・判断力」と「表現力」がある。現段階で、これらの力がどの程度身に付いているかを確認するためにグラフを描く問題を出題した。類出問題であるが、正解者は多くなかった。

(0, 0)と(40, 448)を両端とする線分と、(40, 448)と(50, 448)を両端とする線分が書かれているものが正解であるが、下に示すように(0, 0)と(50, 560)を両端とする線分を描いた誤答が目立った。



【実験2】に用いたCaCO₃は2.00 g、すなわち、 2.0×10^{-2} molであり、①式より、このCaCO₃と過不足なく反応するHClは 4.0×10^{-2} molである。よって、2.00 gのCaCO₃と過不足なく反応する1.0 mol/Lの塩酸は40 mLである。したがって、40 mL以上の塩酸を加えてもCaCO₃はすべて反応しており、それ以上①式の反応は進行しないため、加えた塩酸の体積によらず発生したCO₂の0℃、 1.013×10^5 Paにおける体積は448 mLで一定になる。

本問のように、グラフを描いたり、計算過程を書いたりする力は入試で求められる力の一つであるが、一朝一夕には身につかないので、普段から丁寧な学習を心掛けよう。

【化学】

有機化合物の構造決定の問題を攻略しよう！

第3問 I

芳香族化合物の構造決定に関する問題

有機化学の構造決定の問題は、二次・私大の入試で頻出である。今回は第3問Iの構造決定の解き方について詳しく述べる。

構造決定の問題を解くためには、以下の基本事項は必ず覚えていなければならない。

- ・芳香族化合物のニトロ化と還元
- ・芳香族アミンのジアゾ化とジアゾニウム塩の分解
- ・エステル結合およびアミド結合の加水分解
- ・エノールの異性化

化合物Bは、分子式がC₇H₉Nであることと、ベンゼンのパラ二置換体であることから構造が決まる。化合物Cは、化合物Bに塩酸と亜硝酸ナトリウム水溶液を氷冷しながら作用させたのちに温めて生じるとあるので、ジアゾ化とジアゾニウム塩の分解に関する知識があれば構造が決まる。

エステル結合およびアミド結合の加水分解でアセトンが生じている点は少し難しいが、問2がヒントになっている。加水分解で生じたエノールが異性化することでカルボニル化合物が生じるのは、酢酸ビニルの加水分解でアセトアルデヒドが生じるのと同様である。

残る化合物Dについては、問5、6がヒントとなる。1 molの化合物Aを加水分解したときに、アセトン、化合物B、化合物C、化合物Dがそれぞれ1 molずつ生じているので、異性化してアセトンを生じる化合物Xの-OH、化合物Bの-NH₂、化合物Cの-OHを考慮すれば、化合物Dに-COOHが3つ必要だとわかる。さらに、加熱により脱水反応が起こらないことから構造が決まる。あとはエステル結合およびアミド結合でつなぐことで化合物Aの構造をつくることができる。

構造決定の問題は、序盤でつまずくと失点が大きくなってしまいがちである。模試は設問どうしの連動によって失点が大きくなり過ぎないように考慮して作成しているが、入試本番ではそのような考慮は少なく、出だしてつまずくと大問一つが0点ということもあり得る。基本的な知識を確実に覚えるとともに、元素分析などによる分子式の決定などはミスのないように慎重に解いてほしい。

【生物基礎】

表から読み取った情報を知識と組み合わせるよう

第3問 問4 三宅島の遷移

遷移の進行と植生の構成種の性質に関する知識をもとに、三宅島の遷移のデータを読み解く問題

第3問の問4は、「図1と表1をもとに考察できること」を選択する設問であったが、問題文中の情報も含めて丁寧に考察する必要があった。

調査地点P～Sで生育する樹種は、2018年に調査されたものである。地点Pは1983年に流出した溶岩の範囲に含まれており、1983年に植生が破壊された後に遷移が始まり、2018年まで35年間遷移が進行した地点である。アの選択肢では、「溶岩が流出してから30年では」とあるが、溶岩が流出してから35年が経過した地点Pではオオバヤシャブシが生育するのみである。胸高断面積が非常に小さいことから、地点Pでは高木の森林が見られないと判断できるので、溶岩が流出してから30年の段階でも、高木の森林は見られないことになる。

また、エ～キの選択肢の正誤の判断には、遷移の初期に出現する樹種よりも、遷移の後期に出現する樹種のほうが、光補償点が低い(弱い光でも生育できる)という知識を活用する必要があった。エの選択肢では、ヤブニッケイとヤブツバキが比較されており、地点Qや地点Rで見られるヤブニッケイより、地点Sで見られるヤブツバキのほうが、遷移の後期に出現する樹種であり、光補償点が低いと考えられる。地点Sではスタジイが優占する高木林が形成されており、胸高断面積が大きいことから、高木層が発達した森林であることがうかがえる。このような森林の内部は非常に暗いため、光補償点が低い樹種しか生育できない。

このように問4では、図1と表1を見るだけでなく、問題文の内容と教科書で学習した知識を応用して丁寧に考察する必要があった。生物入試には、実験や調査の結果を考察する問題が出題されることが多いが、このような問題を試験時間内に解答するためには、教科書で説明されている現象を正しく理解していることが必要である。読んだだけで理解した気分になってしまうかもしれないが、その内容を説明できるくらいのレベルで習得しておかないと、限られた時間の中で知識を活用して解答することは難しい。生物用語を暗記することばかりにとらわれず、教科書に記載されている内容を説明できることを目標として、学習を進めてほしい。

【生物】

問題文の情報を丁寧に読み取ろう

第2問 問5

ノックアウトマウスを作出する手順に関する問題

この問題は、マウスのES細胞と胚盤胞を利用して、絨毛の形成に必要なA遺伝子を欠損したノックアウトマウスを作出する過程について説明した文章中の空欄に入る語を解答する問題である。実際の入試でも、本問のようにノックアウトマウスの作出過程について考察させる問題は過去に何度も出題されてきたが、これらの問題と比べたときの本問の特徴は、設問文中にかなり多くの情報が記されている点にある。実験で用いるES細胞と胚盤胞の遺伝子型までもが明記されていることから、設問文の情報を正確に読み取り、それに沿って考えを整理すれば、解答に到達できるように作られている。ところが、多くの答案では、はじめの空欄7で、キメラマウスのうちES細胞に由来する黒色の部分の皮膚の遺伝子型を解答できていなかった。しかし、その前の文章には、黒色系統マウス(遺伝子型:AABB)のES細胞で、一方の相同染色体上のA遺伝子を破壊したことが記されており、また、破壊したA遺伝子をa遺伝子とすることも設問文に明示されている。したがって、これら2つの情報を組み合わせて考えれば、遺伝子型がAaBBとなることは自明であろう。逆に、この内容を理解できていなければ空欄9および10の解答も不可能となり、この設問の得点をすべて失うことになる。このように、設問文の内容を正確に読み取るだけで解答に到達できるのは生物の入試では日常茶飯事であり、設問文を丁寧に読み、そこから正確に情報を抽出する読解力は、生物の知識と並んで入試で最も重要な力の1つである。この能力を一朝一夕で身につけることは難しいが、模試だけでなく普段の問題演習においても、「正確に読む」という意識をもって取り組んで行けば、少しずつ養うことができるはずである。まずは文章を丁寧に読む意識づけが重要になるので、入試本番までの残された期間、常に「きちんと読む」ことを心がけて頑張っていって欲しい。

【地学基礎】

問われた内容を正しく把握し、的確に論述する力を身につけよう

第2問 問6

宇宙の晴れ上がりについての的確に表現する力を問う問題

本問は、「宇宙が遠くまで見渡せるようになった理由」を論述する問題である。ここでは、ビッグバンから約38万年後に起こったとされる「宇宙の晴れ上がり」について学習した知識を整理し、制限字数(40字)以内にまとめることが必要となる。

宇宙の晴れ上がりについて確認しておこう。(a)誕生直後の宇宙では、陽子(水素原子核)・ヘリウム原子核と電子がバラバラに存在していた。(b)光は自由に動き回る電子(自由電子)によって散乱され、直進することができなかった。(c)時間が経過し、宇宙の温度が約3000Kまで低下すると、陽子と電子が結合して水素原子、ヘリウム原子核と電子が結合してヘリウム原子がそれぞれ形成された。(d)その結果、宇宙空間に大量に存在した自由電子が少なくなり、光は散乱されずに直進できるようになった。

本問では、宇宙空間を光で見渡せるようになった理由が問われているので、上記の(a)~(d)のうち、(c)と(d)に触れて、①「原子核と電子が結合して自由電子が減少した」ことと、②「光が電子に散乱されずに直進できるようになった」ことの2点に言及することになる。

①の内容は問5でも問われており、「自由電子が減少した」または「原子核と電子が結合した」ことが書かれていればよいが、答案を見ると「原子と電子が結びついて」のように「原子核」と「原子」を取り違えている解答が目立った。

また、答案の多くは①の言及にとどまり、②まで言及している解答は意外にも少なかった。光が直進できるようになった理由として「(自由)電子に散乱されなくなった」ことにも必ず触れておこう。

論述問題では、頭で理解しているつもりでも、考えていることを簡潔な文章にまとめるのは意外と難しい。復習の際には、『学習の手引き』の解答を目で追うだけでなく、実際に書いてみるのが肝要である。論述問題の克服だけでなく、学習事項の理解を深めるためにも、日頃の学習では基本的な地学用語について短い字数でまとめる練習に取り組むことをお勧めしたい。

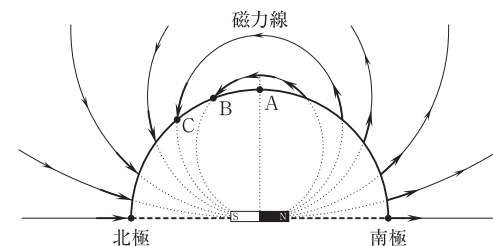
【地学】

地磁気のしくみを理解し、地磁気の逆転と残留磁気に関する問題をこなせるようにしよう

第1問 問6

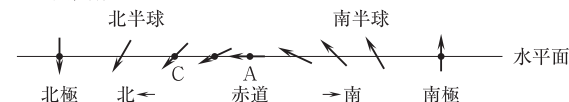
地層に残された残留磁気の向きを考察する問題

地磁気は、地球の自転軸から約 10° 傾けて置かれた棒磁石の磁場に似ている。本問では、地磁気の極が北極・南極に一致としているので、現在の磁力線を模式的に描くと下図のようになる。よって、現在と同じ正磁極期には、南極から北極に向かう磁力線に沿って、地磁気の向きは、南半球では上向き、北半球では下向き、赤道付近では水平となる。



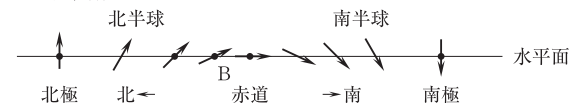
地表付近の水平な面を考え、正磁極期の地磁気の向きを示すと、下図のようになり、正磁極期に堆積している赤道付近のA層では左(北)向き・水平で、北緯 40° 付近のC層では左(北)・下向きとなる。

<正磁極期>



一方、逆磁極期には、磁力線の向きが逆となるので、各緯度での地磁気の向きは、下図のように、北半球では上向き、南半球では下向きとなる。したがって、逆磁極期に堆積した北緯 20° 付近のB層は右(南)・上向きとなる。

<逆磁極期>



さらに、緯度が高くなるほど傾斜の角度が大きくなるので、B層よりも緯度が高いC層の方が傾斜の角度が大きくなる。

解答では、矢印の左右と傾斜の角度の違いを示して完成となる。

地理歴史

【世界史】

問題文が求める意図に従って解答を作成しよう

第4問 問10

ミュンヘン会談についての短文論述問題

今回の模試では短文の論述問題を2題出題した。大学入試では、思考力・判断力と表現力を試す問題として、20字から100字程度の論述問題の出題が近年増加している。こうした問題は、問題文をよく読み、出題者の意図に対して必要な語句や説明を考えることで解答することができる。しかし、実際には白紙の答案も多い。論述問題であるというだけで、後回しにして結局解答できなかつた生徒諸君も多いのではないだろうか。いきなり完全な解答を求めては、解ける問題も解けなくなる。まず問題文から、解答可能な箇所を見つけてみよう。

第4問の問10では、ミュンヘン会談について90字以内で論述する問題を出題した。この問題では、ミュンヘン会談の「開催に至る経緯」と、「そこで決定された事項」、そして「当時のイギリス首相の名」を書くことが要求されている。まず、一問一答的な知識で考えると、ミュンヘン会談当時のイギリス首相は「ネヴィル＝チェンバレン」と答えられる。そうすると関連してヒトラーに対する「宥和政策」が想起できる。さらにミュンヘン会談が「ヒトラーのズデーテン地方割譲要求」に対して開催されたという知識と組み合わせると、会談の結末は「宥和政策」により「ドイツの要求が認められた」と判断できる。このように、一問一答的な知識を組み合わせることで、問題の要求に答えていくことが可能となる。

空欄補充問題や下線部設問の問題であれば、これらの事項に答えられたという人も多いのではないだろうか。論述問題だからと臆することなく、知っている部分だけでも文章としてまとめてみよう。論述問題では記述問題の解答を積み重ねるようにして解いていくことができる。思考力とは、段階を踏んで論理を展開する力である。問題を徹底的に読み、出題の意図を理解し、要求されているポイントを書き出し、文章としてまとめる。その作業を徹底することが重要なのである。恐れずに取り組んでみよう。

【日本史】

知識の正確な理解のもとに論述問題を解答しよう

第4問 問14

サンフランシスコ平和条約をめぐる路線対立に関する論述問題

今回の模試では短文論述問題を1題出題した。受験生諸君の答案を見ると、設問から出題意図を読み取れない答案、未消化な知識を列挙した答案が見られた。論述問題を解答する要点は、教科書で学習した知識を、歴史の因果関係をふまえて解答を構成すること。これからの大学入試では思考力・判断力・表現力の習得が求められており、日常学習で得た知識が正確に理解できているか確認する意味でも、論述問題を解き採点してもらうことは有効な学習法の一つなのである。

第4問の問14は、サンフランシスコ平和条約の締結をめぐる、国内で対立する2つの「路線対立」を説明する問題である。解答には不要だが平和条約締結までを概観しておく。敗戦後GHQは、軍隊を解散させ、非軍事化と民主化を基調に占領政策を進めた。ところが1948年に朝鮮民主主義人民共和国、翌年中華人民共和国が成立し、東アジアにも冷戦が波及すると米国は占領政策を転換し、日本を「反共の防壁」と位置づけ、経済復興をすすめ同時に再軍備を要求しはじめた。朝鮮戦争は米国の対日講和を加速させ、平和条約締結により占領を解除し独立を回復させることで日本を資本主義陣営に編入しようとした。

実際の答案では、以上の経緯を想起できているので解答が分かれた。日本国内の保守派と革新派、軍縮賛成派と反対派、協調外交派と権益獲得派、GHQの政策に協調的か否かなどの対立をあげた答案は戦後史の基本的理解ができていない。また、日米安全保障条約や国際連合加盟、沖縄の基地設置と返還に言及したものは平和条約以降の動向を混在させてしまっている。問われているのは平和条約の締結をめぐる路線であり、条約をめぐる状況に集中してほしかった。

一方で、現代社会や政治経済の学習からか、題意をくみとれた答案もそれなりに見られた。その場合、①「全面講和」、「単独講和(片面講和)」といった語句が指摘できた場合と、②「社会主義国を含めた全ての国と講和」、「資本主義国とのみ講和を進めた」とその内容を説明できた場合に分かれた。①②の両者を的確に説明できたものも一部にみられた。なお、②に関連して、③「南原繁ら知識人層、日本社会党、日本共産党が全面講和を主張」、「(第3次)吉田茂内閣、自由党政権が単独講和を進めた」といった解答も、説明が正確であれば別解として許容した。

【地理】

図表問題への対応力を養おう

第2問 問1

挙げられた選択肢を適切に分類しよう

広葉樹は熱帯から温帯の低緯度側に、針葉樹は温帯の高緯度側から亜寒帯に多く分布する。よって、広葉樹の比率が高い(針葉樹の比率が低い)B、C、Eは低緯度地域に位置するインド、インドネシア、ブラジル、広葉樹の比率が低い(針葉樹の比率が高い)A、Dは高緯度側に位置するアメリカ合衆国とロシアのいずれかである。このように適切に選択肢を分類できれば、解答に大きく近づくことができる。本問は、インドとインドネシアを問うたことから、B、C、Eの中から、人口規模や経済発展の度合いにより総合的に判別すればよい。人口規模が大きい国は国内消費が多いため、一定程度、原木の生産量(伐採量)が多くなり、また、薪炭材の比率は発展途上国で高く、産業の発達とともに経済が成長すると、薪炭材の比率は低下し、用材の比率が上昇する。なお、この3か国の一人当たりGNIはインドが最も低い値となっており、同国は薪炭材の比率が最も高くなっている。

第2問 問2

選択肢(指標)の中に判別しやすいものがないか探そう

用材の国内生産量はFが答えだが、GとIなどの誤答が散見された。問われた指標がわかりにくい場合、勝手にストーリーを考え決めてしまうのではなく、各指標の推移の特徴をふまえ、問われていない指標の中に容易に判別できるものがないか探してみよう。また、最初の判断が正しいかを検証するためにも、他の指標の判別を行いたい。問1のA(アメリカ合衆国)と同様に、日本は先進国であることから、近年における燃料材の供給は少ないと考え、GとIは燃料材の国内生産量と輸入量のいずれかである。残ったFとHのうち、1960年当初は供給量が多かったものの、高度経済成長期の需要増加とともに供給量全体が急増する中で、Hが急増しFを上回った。このことから、当時、需要を充たすため比較的安価な外材の輸入が多くなったと考えHを用材の輸入量とし、Fが用材の国内生産量となる。

今後は、模試の復習にくわえ、過去問や問題集の演習に挑むことで、関連事項の総合的理解に努め、また、対応できなかったところや弱点を見つけ出し、その克服のため、地図帳や教科書の図表、統計資料などを活用しながら対策を図って行こう。

公 民

【政治・経済】

環境問題について押さえておこう

第5問 A

地球環境問題を中心とした設問

本問では、地球環境問題に関する重要事項を問うている。これらは、近年の政治・経済の入試で出題頻度が非常に高い分野であり、2026年入試で出題される可能性も高い。

まず、国連人間環境会議や国連環境開発会議など、とくに地球温暖化に関わる国際的な取り組みについての基本的な知識をしっかりと押さえるようにしよう。年号や開催場所のほか、「かけがえのない地球」や「持続可能な開発」などの会議のスローガンや理念、国連人間環境会議では、人間環境宣言が採択されたこと(問2)やUNEPの設立が決まったこと、国連環境開発会議では、気候変動枠組条約が採択されたこと(問1)などである。また、国連環境開発会議では、先進国と発展途上国が対立したことは必ず押さえておくべき知識であり、この点を踏まえれば、「共通だが差異ある責任」を選択することは容易だったはずである(問5)。

また、パリ協定に関する知識や同協定をめぐる各国の動向などについては、とくにしっかりと確認してもらいたい。パリ協定は、先進国だけに温室効果ガス削減義務を課した京都議定書とは異なり、中国やインドなどの発展途上国を含むすべての国が参加する枠組みである点で歴史的意義を有するものであり(問4(2)イ)、入試で気候変動の問題が取り上げられる際には必ず出題されると考えておいてよい。同協定に掲げられたカーボン・ニュートラルは、日本を含む各国で重視されこれに取り組んでおり、地球温暖化を考える際には極めて重要な概念であると認識しておいてもらいたい(問4(1))。

さらに、オゾン層破壊や海洋汚染など、地球温暖化以外の環境問題とそれに関わる条約を関連づけて記憶しておいてもらいたい(問3)。海洋汚染につながるマイクロプラスチックをめぐる問題などが、マス・メディアでも大きくとりあげられ注目を集めているが、こうした時事的な問題は、日頃から新聞やテレビのニュースによる報道に触れることで、実状を知り理解を深めておくことが重要である。

【倫理】

用語の暗記に走らず、思想内容の理解に努めよう！

第4問 問6

思想家名が伏せてられている二つの著作からの引用が資料1・資料Ⅱとして示され、それらの内容から思想家名(フーコー)を答えさせる問題。

資料Ⅰ(フーコー『監獄の誕生』からの引用)について。この資料では、「一望監視装置」についての分析が行われている。独房に収監されている被拘束者(例えば受刑者)は「完全に見られる」が、監視塔にいる人(例えば看守)を「見るわけにはいか」ない状況が述べられている。そして、被拘束者は「自発的にその強制を自分自身へ働かせる」とされている。この状況をやや詳しく説明すれば、次のようになる。被拘束者は(看守を見ることができないために)自分が本当に看守に見られているかどうかは分からない。しかし、常に見られている可能性があることから、看守が常に見ていることを前提に行動するようになり、看守の監視の視線を自分に内在化させて自発的に自己を規制するようになる。フーコーは、『監獄の誕生』において、近代以降、このような権力関係の網の目が社会全体に張り巡らされたこと、そしてその下で規格化された人間が作り出されてきたことを批判的に分析した。

資料Ⅱ(フーコー『言葉と物』からの引用)について。資料では、「人間」が「最近の発見」であり「その終焉が近い」ことを、「思考の考古学」によって示した、とされている。この点をやや詳しく説明すると次のようになる。フーコーは、『言葉と物』において、近代社会が前提とする理性的な人間というのは、近代の思考の枠組み(エピステーメー)が生み出したものにすぎないとして、思考の枠組みが変化すればそうした人間も消滅するということを、知の考古学と呼ばれる歴史研究をもとに分析した。知の考古学とは、近代的な思考の枠組みとなる知の体系がどのように形成されてきたのかを、歴史に残された資料から読み取ろうとするもので、それによって彼は、人間の知を支配する言語活動の集合体は、その時々々の権力と結びつき、権力が生み出す抑圧や差別を内に含んでいるとして近代批判をおこなった。

この種の問題は、日頃の学習において、それぞれの思想家がどのような状況を分析しようとしたかということを押さえておかないと対応できない。表面的な学習に満足せず、思想内容の理解に重点をおこう。

「採点に関する問い合わせ」について

このたびは、第3回全統記述模試を受験していただきありがとうございました。
 答案・個人成績表を見直した結果、今回の採点や得点に関して疑問や質問がある場合は、
 以下の手順に従ってお問い合わせください。

①送付先

右の問い合わせ用紙に記入し、31ページに記載されている河合塾の営業部あてに郵送にてお送りください。なお、河合塾生（塾生として申し込んだ大学受験科・高校グリーンコース生）の方は、所属校舎へご提出ください。

②問い合わせ用紙の記入方法

太枠内をすべて記入してください。問い合わせ内容は記入例を参考に以下の事項を記入してください。

- 科目名、大問・設問番号
 - 内容に該当する項目（A～Eの記号を選択）
 - 問い合わせ内容記入欄に、具体的な内容を補足
- * 科目や項目が複数ある場合は、それぞれについて問題番号と内容を記入してください。
 * なお、志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

③提出していただくもの

- 「採点に関する問い合わせ用紙」（提出前に必要事項にもれがないか、内容が具体的に記入してあるかを再度確認してください。）
- 「個人成績表」（コピーの場合は、両面を提出してください。）
 * ただし、Web返却対象者は必要ありません。
- 第3回全統共通テスト模試との総合学力評価（ドッキング評価）についての問い合わせの場合は、第3回全統共通テスト模試の個人成績表もご提出ください。（コピーでもかまいません。また、Web返却対象者は必要ありません。）

上記3点を同封し、封筒の表に朱書きにて「第3回全統記述模試 採点に関する問い合わせ用紙在中」と明記してご郵送ください。

- * 答案については提出不要です。ただし、解答用紙番号をもとに河合塾にて答案データ照合を行いますので、お問い合わせ箇所と内容について、具体的に記入してください。（不明点がある場合、確認のためにご連絡する場合があります。）
 なお、お問い合わせ箇所をより正確に指摘するため、答案（コピー）に明示し、添付されてもかまいません。

④送付締切日

12月8日(月)到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日

回答は、1月7日(水)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】

- 問い合わせ用紙に記入された個人情報は、厳重に取り扱い適正な管理を実施します。
- 利用目的
 - ・成績処理および成績返却
 - ・個人を特定できない方法による統計資料の作成

「採点に関する問い合わせ用紙」の記入・提出方法についてご不明な点は、全統模試サポートセンターへお問い合わせください。

※河合塾生（塾生として申し込んだ大学受験科・高校グリーンコース生）の方は、所属校舎にお問い合わせください。

全統模試サポートセンター(12:00～19:30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。)

0120-977-558

*全統模試サポートセンターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

切りとり線

2025年度 第3回全統記述模試 採点に関する問い合わせ用紙

*太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

フリガナ 氏名				受験会場名				
受験番号				個人成績表の解答用紙番号	—			
在・卒高校名				クラス名			クラス番号	
住所 (連絡先)	〒 —			*マンション名、部屋番号まで記入してください。				
電話番号	() —			携帯電話番号	() —			

*お問い合わせの該当箇所・内容がわかるように、詳細に記入してください。

科目名	大問	設問番号	項目
(例) 数学Ⅱ型	②	(2)	B

←該当する項目（A～E）を左に記入してください。

- A. 正答が×になっている。
 B. 部分点が正しく与えられていない。
 C. 採点されていない箇所がある。
 D. 成績表の得点が答案と異なる。
 E. その他（下記に具体的に記入してください。）
 *志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

【問い合わせ内容記入欄】*上の表に対する補足説明等をできるだけ詳しく記入してください。

(例) 成立する場合の説明に対して部分点が与えられていない。

【回答欄】

回答者

受付日	受付者

返却日	返却者

お問い合わせ先一覧

■模試について

- ①個人でお申し込みの方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558
②学校を通じてお申し込みの方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-717-558
③河合塾生の方 [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577
※高校グリーンコース生以外の塾生の方は所属校舎へお問い合わせください。

*河合塾全統模試サポートセンター/高校グリーンコース生専用フリーダイヤル(12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)

■採点に関する問い合わせ用紙の記入・提出方法について

- ①河合塾生の方 所属校舎
②河合塾生以外の方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558
www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/



■採点に関する問い合わせ用紙の送付先 受付時間 9:00~17:00 (土日祝休み)

- 北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) TEL(011)708-8584
【担当地区：北海道】
- 東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-7-22 (河合塾仙台校自習棟内) TEL(022)215-7581
【担当地区：青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】
- 関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) TEL(048)647-9581
【担当地区：茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】
- 首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 TEL(03)6811-5532
【担当地区：千葉・東京・神奈川・山梨】
- 中部営業 〒464-8610 名古屋市千種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) TEL(052)735-1511
【担当地区：岐阜・静岡・愛知・三重】
- 近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 TEL(06)6372-5731
【担当地区：石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】
- 中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) TEL(082)264-4581
【担当地区：島根・広島・山口・愛媛】
- 九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) TEL(092)714-5711
【担当地区：福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】